

## 救急医学分野

### [付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター]

#### 研究概要

救急医学分野では研究テーマを「ショック・虚血再灌流に続発する臓器障害発生の機序解明」と設定し、外科、脳外科、整形外科、集中治療、熱傷、中毒、災害医学をサブスペシャリティーに持つ各グループが、幅広い学術研究・学会・論文発表を行った。・外傷外科領域：重症外傷患者に対する staged laparotomy や open abdominal management とその閉腹法など、外傷手術手技や術後管理に関する研究を進め報告を行った。・脳神経外科領域：重症頭部外傷、脳血管障害、蘇生後脳症および脳死や終末期医療に関して、文部科学省・厚生労働省科学研究費等の複数の助成を受け、臨床的、基礎的研究を行ない、多くの成果を発表した。重症頭部外傷に対する早期低体温療法導入の効果に関する国内外多施設共同研究を当講座主導で進め、頭蓋内病態把握および予後改善を目指した研究を推進している。・集中治療領域：重症病態に併発する呼吸不全、循環動態に関するモニタリングおよび管理指標に関する研究・発表を行った。また、熱中症の発生状況の分析や対策に関する報告など、熱中症全国調査に基づく研究発表や社会に対する啓発活動を行った。・災害医療領域：ドクターカー運用や多数傷病者対応・テロ・事態対応など、本学が推進する積極的な病院前救急医療を行うためのシステム構築に関する研究から実際の活動まで、幅広い研究発表を行った。・基礎研究領域：文部科学省・厚生労働省科学研究費やその他の競争的資金を受け、全身性炎症反応、臓器障害、Post intensive care syndrome の機序解明に向けた動物実験、予防医学や医療体制に関する研究を行い、その成果を発表した。

#### 研究業績

##### 論 文

###### (1) 原著：

- 1) 須崎 真<sup>1)</sup>、小原俊彦<sup>1)</sup>、若栗大朗<sup>1)</sup>、桐木園子<sup>1)</sup>、小野寺直子<sup>1)</sup>、兵働英也<sup>1)</sup>、荒木 尚<sup>1,2)</sup>、宮内雅人<sup>1,2)</sup>、川井 真<sup>1,2)</sup>、横田裕行<sup>2)</sup>、安武正弘<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学付属病院総合診療センター、(2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター)：日本医科大学付属病院総合診療センターにおける救急・総合診療研修の取り組みと初期臨床研修医による評価。日本病院総合診療医学会雑誌 2016; 10 (2) : 29-34.
- 2) Nakae R, Takayama Y, Kuwamoto K, Naoe Y, Sato H, Yokota H : Time Course of Coagulation and Fibrinolytic Parameters in Patients with Traumatic Brain Injury. Journal of Neurotrauma 2016; 33 (7) : 688-695.
- 3) Yokobori S, Spurlock M<sup>1)</sup>, Lee S<sup>1)</sup>, Shyam G<sup>1)</sup>, Bullock R : Microdialysis as Clinical Evaluation of Therapeutic Hypothermia in Rat Subdural Hematoma Model. Methods Mol Biol. 2016; 1642 : 413-431.
- 4) 金 史英、萩原 純、石井浩統、松居亮平、萩原令彦、片桐美和、増野智彦、新井正徳、辻井厚子、横田裕行：腹腔内出血制御症例の検討：腹部外傷における腹腔内出血コントロール：Interventional Radiology と Damage Control Surgery の適応の限界。日本腹部救急医学会雑誌 2016; 36 (6) : 1043-1051.
- 5) 吉野美緒、重村朋子、高田治樹、市村美帆、稻本絵里、川尻泰樹、増野智彦、松井 豊、横田裕行：病院前救急診療活動に従事する医師の外傷性ストレスに関する研究。トラウマティック・ストレス 2016; 14 (1) : 63-72.

###### (2) Review :

- 1) Yokobori S, Yokota H : Targeted temperature management in traumatic brain injury. Journal of Intensive Care 2016; 4 (28) : epub open access.

###### (3) 総説：

- 1) 荒木 尚：頭部外傷と意識障害。日本神経救急学会雑誌 2016; 28 (2) : 19-23.
- 2) 横田裕行：頭を打ったとき。NHK テキストきょうの健康 4 月号 2017; (349) : 104-109.
- 3) Araki T, Yokota H, Morita A<sup>1)</sup> (1) Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Pediatric Traumatic Brain Injury : Characteristic Features, Diagnosis, and Management. Neurol Med Chir (Tokyo) 2017; 57 (2) : 82-93.
- 4) 栗栖 薫、横田裕行、荒木 尚 (1) 広島大学病院脳神経外科)：臓器提供と脳神経外科医：脳死判定の現況と今後の課題。Neurosurgical Emergency 2016; 21 (2) : 151-154.
- 5) Yokobori S, Nakae R, Yokota H, Spurlock M<sup>1)</sup>, Mondello S<sup>2)</sup>, Gajavelli S<sup>1)</sup>, Bullock R<sup>1)</sup> (1) Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine, Miami, FL, USA., (2) Department of Biomedical and Dental Sciences and Morphofunctional Imaging, University of Messina, Messina, Italy.) : Subdural hematoma decompression model : A model of traumatic brain injury with ischemic-reperfusion pathophysiology : A review of the literature. Behav Brain Res. 2016; 25 : epub.

- 6) 横田裕行：熱中症対策. NHK テキスト きょうの健康 7月号 2016 ; (340) : 66-69.
- 7) 宮内雅人：食中毒対策. NHK テキスト きょうの健康 7月号 2016 ; (340) : 70-73.
- (4) 症例報告 :
- 1) 吉田文哉, 恩田秀賢, 五十嵐豊, 石井浩統, 飯本健太郎, 塚本剛志, 増野智彦, 辻井厚子, 新井正徳, 横田裕行：高気圧酸素治療が有効であった気腫性感染症の2症例. 日本臨床高気圧酸素・潜水医学会雑誌 2016 ; 13 (1) : 14-18.
  - 2) 石井浩統, 萩原令彦, 山名英俊, 恩田秀賢, 増野智彦, 横田裕行, 根井貴仁<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学付属病院感染制御部) : 高エンドトキシン血症を呈したレジオネラ肺炎の1例. エンドトキシン血症救命治療研究会誌 2016 ; 20 (1) : 79-83.
  - 3) 山名英俊<sup>1, 2)</sup>, 増野智彦<sup>1)</sup>, 内海清乃<sup>1)</sup>, 藤本将友<sup>1)</sup>, 緒方翔一<sup>1)</sup>, 五十嵐豊<sup>1)</sup>, 萩原 純<sup>1)</sup>, 横堀将司<sup>1)</sup>, 布施 明<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, <sup>2)</sup> 筑波メディカルセンター病院) : 鬼怒川堤防決壊に伴う病院避難時に発生した軽症者バス搬送中の患者急変. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2016 ; 37 (2) : 284-287.
  - 4) 杉中宏司<sup>1, 2)</sup>, 中山文彦<sup>1, 2)</sup>, 本村友一<sup>1, 2)</sup>, 益子一樹<sup>1, 2)</sup>, 八木貴典<sup>1, 2)</sup>, 原 義明<sup>1, 2)</sup>, 松本 尚<sup>1, 2)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, <sup>2)</sup> 日本医科大学大学院救急医学分野) : CT によっても同定できなかった大腿骨複合骨折の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2016 ; 37 (2) : 333-337.
  - 5) 金谷貴大, 桑原広輔, 萩原 純, 横堀将司, 吉田文哉, 塚本剛志, 増野智彦, 金 史英, 辻井厚子, 横田裕行 : 肝硬変に起した十二指腸靜脈瘤破裂の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2016 ; 37 (2) : 349-353.
  - 6) 金谷貴大, 五十嵐豊, 纓纓健太, 恩田秀賢, 横堀将司, 飯本健太郎, 荒木 尚, 坂本和嘉子, 布施 明, 横田裕行 : HELLP 症候群に合併した尾状核出血の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2016 ; 37 (2) : 391-394.
  - 7) 岩井健司, 飯本健太郎, 塚本剛志, 松居亮平, 吉田文哉, 坂本和嘉子, 宮内雅人, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行 : 難治性気胸を合併した気道熱傷の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2016 ; 37 (2) : 450-454.
  - 8) 吉野雄大, 岩井健司, 松居亮平, 石井浩統, 萩原令彦, 萩原 純, 増野智彦, 金 史英, 新井正徳, 横田裕行 : Veno-Venous Extracorporeal Membrane Oxygenation を導入し緊急手術を行った低酸素血症を伴う食道破裂の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2016 ; 37 (2) : 497-500.

(5) Review Article :

- 1) Araki T, Yokota H, Fuse A : Brain Death in Pediatric Patients in Japan : Diagnosis and Unresolved Issues. Neurologia medico-chirurgica 2016 ; 56 (1) : 1-8.

(6) プロシーディング :

- 1) 山田真史奈<sup>1, 4)</sup>, 松田明久<sup>2)</sup>, 千葉知宏<sup>3)</sup>, 相磯貞和<sup>4)</sup>, 増野智彦, 松本 尚<sup>1)</sup>, 宮下正夫<sup>2)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, <sup>2)</sup> 日本医科大学千葉北総病院外科, <sup>3)</sup> 杏林大学医学部病理学教室, <sup>4)</sup> 慶應義塾大学医学部解剖学教室) : 重症敗血症モデルマウスにおける S14G-Humanin の効果. エンドトキシン血症救命治療研究会誌 2016 ; 20 (1) : 145-145.
- 2) 増野智彦 : 救急医療における HBOT の意義と将来. 日本高気圧環境・潜水医学会誌 2016 ; 51 (4) : 231-231.

## 著 書

- 1) 井上泰豪<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 一般財団法人広南会広南病院血管内脳神経外科) : [分担] 急性期意識障害の判定 : 意識レベルを正しく伝える. メディカルスタッフのための臨床医学 ([監修] 矢崎義雄 [編集] 吉澤篤人), 2016 ; pp26-33, 医薬ジャーナル社.
- 2) 横堀将司, 横田裕行 : [分担] 頭部外傷. EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針 (第4版) ([編集] 田村晃, 松谷雅生, 清水輝夫, 辻貞俊, 塩川芳昭, 成田善孝), 2016 ; pp240-248, メディカルビュー社.
- 3) 荒木 尚, 横田裕行, 森田明夫<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学大学院脳神経外科) : [分担] 小児の頭部外傷. EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針 (第4版), 2016 ; pp249-255, メディカルビュー社.
- 4) 五十嵐豊, 横田裕行 : [分担] 重症頭部外傷治療・管理のガイドライン. 救急・ICU すぐに役立つ“超”ガイドラインこれだけ BOOK ([編集] 阿南英明), 2017 ; pp67-72, MC メディカ出版.
- 5) 金 史英, 横田裕行 : [分担] 手術関連薬. Pocket Drugs 2017 ([監修] 福井次矢 [編集] 小松康宏, 渡邊裕司), 2017 ; pp822-829, 医学書院.
- 6) 金 史英, 横田裕行 : [分担] 止血薬. Pocket Drugs 2017 ([監修] 福井次矢 [編集] 小松康宏, 渡邊裕司), 2017 ; pp830-836, 医学書院.
- 7) 横田裕行 : [分担] 超高齢社会に対応した救急医療体制の再構築が喫緊の課題. 医療界キーパーソンに聞く PART3 ([編著] 長野祐也), 2017 ; pp37-47, ぎょうせい.
- 8) 横堀将司 : [分担] 第8章 頭部外傷. 改訂第5版 外傷初期診療ガイドライン (ヘルス出版), 2016 ; pp125-141, ヘルス出版.
- 9) 横堀将司 : [分担] 神経集中治療 重症頭部外傷に対して低体温療法は有効か?. 救急・集中治療, 2016 ; pp866-872, 総合医学社.
- 10) 横堀将司 : [分担] 脳室ドレナージ : 頭蓋内の解剖・生理学を理解して適切な管理を行う. Intensivist, 2016 ; pp527-533, メディカルサイエンスインターナショナル.

- 11) 横堀将司：[分担] 頭部外傷と低体温療法：Timing と Target が重要なのだ！. 救急医学, 2016; pp704-707, へるす出版.
- 12) 小原良規<sup>1)</sup> (1) 整形外科リウマチ外科) : [自著] Ortho interface 災害医療と血栓症. Salvus (菅野伸彦, 高井信朗, 田中 栄, 土屋弘行, 福田寛二), 2017; pp2-3, 株式会社メディカルレビュー社.
- 13) 横田裕行 : [分担] ショック緊急検査と処置. 今日の治療指針 2017, 2017; pp8-9, 医学書院.
- 14) 小笠原智子 : [分担] 消化管損傷 (十二指腸を含む). 今日の治療指針 2017, 2017; pp63-63, 医学書院.
- 15) 横田裕行 : [分担] 1次救命処置 (BLS) : 成人. 今日の治療指針 2017, 2017; pp79-81, 医学書院.
- 16) 浅利 靖<sup>1)</sup>, 太田 凡<sup>2)</sup>, 坂本哲也<sup>3)</sup>, 嶋津岳士<sup>4)</sup>, 鈴木 昌<sup>5)</sup>, 谷川攻一<sup>6)</sup>, 長尾 建<sup>7)</sup>, 藤谷茂樹<sup>8)</sup>, 三宅康史<sup>9)</sup>, 森村尚登<sup>10)</sup>, 横田裕行 (1) 北里大学医学部救命救急医学, (2) 京都府立医科大学大学院医学研究科救急・災害医療システム学, (3) 帝京大学医学部救急医学講座, (4) 大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座救急医学, (5) 慶應義塾大学医学部救急医学, (6) 福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター, (7) 日本大学病院循環器病センター循環器内科, (8) 聖マリアンナ医科大学救急医学集中治療部, (9) 帝京大学医学部救急医学講座, (10) その他) : [翻訳責任者] AMLS (Advanced Medical Life Support) 日本語版—観察に基づいたアプローチ. AMLS (Advanced Medical Life Support) 日本語版—観察に基づいたアプローチ (【監訳】 坂本哲也, 谷川攻一), 2016; へるす出版.
- 17) 増野智彦 : [分担] 破傷風. 今日の治療指針 2017, 2017; pp192-194, 医学書院.

## 学会発表

- (1) 会長講演 :
  - 1) 横田裕行 : 重症頭部外傷治療への挑戦. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 44 回), 2016. 11.
- (2) 特別講演 :
  - 1) 増野智彦 : ショック輸液. 千駄木プレホスピタル研究会 (第 22 回) (東京), 2016. 6.
- (3) 招待講演 :
  - 1) Yokobori S : Geriatric TBI in Japan : Lessons from the country with the highest longevity in the world. International Conference of Emergency Medicine 2016 (Cape Town), 2016. 4.
  - 2) Yokobori S : Progress of Intravascular Temperature Management : Lessons from the Recent Trials. Annual conference of Taiwan Emergency Medicine (Taipei), 2016. 6.
  - 3) 横堀将司 : 救急医療における意識の評価と管理. 救急災害医療セミナー (名古屋), 2016. 9.
  - 4) 横堀将司 : 救急現場で遭遇する意識障害 : 『けいれん』と『てんかん』を中心に. 宮城県救急医療研究会第 18 回学術集会 (仙台) (仙台), 2016. 9.
  - 5) 横堀将司 : 脳神経モニタリングを用いた神経集中治療の基本. 脳神経外科救命医によるケースディスカッション in 関西 (大阪), 2016. 9.
  - 6) 横堀将司 : 社会構造の変化と頭部外傷治療の変遷. 2016 年度 日本損害保険協会 研究報告会 (東京), 2016. 12.
  - 7) Araki T, Yokota H : Simulation-based training for determination of brain death in Japan. Annual Conference of Neurotrauma Society of India (25th) (Delhi, India), 2016. 8.
  - 8) 増野智彦 : 熱中症診療の最新の動向と日常診療のコツ. 浅草医師会学術講演会 (東京), 2016. 7.
- (4) 教育講演 :
  - 1) 横田裕行 : 脳死下臓器提供時の課題と展望. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 19 回) (福島), 2016. 5.
  - 2) 横田裕行 : 脳死下臓器提供の課題と今後 : 救急医の視点から. 日本呼吸器学会学術講演会 (第 56 回) (京都), 2016. 4.
  - 3) 横堀将司 : 頭部外傷. 国際脳神経救急・集中治療合同シンポジウム ENLS コース (東京) (東京), 2016. 11.
  - 4) 横堀将司 : 初期治療における頭部外傷治療戦略. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 30 回) (東京), 2016. 5.
  - 5) 増野智彦 : 救急医療における HBOT の意義と将来. 日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 (第 51 回) (東京), 2016. 12.
- (5) シンポジウム :
  - 1) 小塚隆司<sup>1)</sup>, 緒形翔一<sup>1)</sup>, 吉田文哉, 吉野雄大, 山名英俊, 増野智彦, 横田裕行 (1) 東京消防庁) : 血管認識度の穿刺成功率への影響について. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 19 回) (福島), 2016. 5.
  - 2) 横堀将司, 金谷貴大, 恩田秀賢, 梅本健太郎, 荒木 尚, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行 : 治療標準化の流れは頭部外傷関連多発外傷の Preventable Trauma Death を減らせたのか?. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 30 回) (東京), 2016. 5.
  - 3) 布施 明, 萩原 純, 布施理美, 宮内雅人, 横田裕行 : 警視庁 IMAT の運用 : 病院前救急診療として. 日本病院前救急診療医学会学術集会 (第 11 回) (岡山), 2016. 12.
  - 4) 須崎紳一郎<sup>1)</sup>, 布施 明 (1) 武蔵野赤十字病院 救命救急センター) : 救急医による国際線機内ドクターコール応需の経験. 日本航空医療学会総会 (第 23 回) (埼玉), 2016. 10.
  - 5) 中江竜太<sup>1, 2)</sup>, 高山泰広, 横堀将司, 直江康孝<sup>2)</sup>, 佐藤秀貴, 横田裕行, 鈴木謙介<sup>1)</sup>, 兵頭明夫<sup>1)</sup> (1) 獨協医科大学越谷病院 脳神経

- 外科, 2) 川口市立医療センター 救命救急センター) : 高齢者頭部外傷における凝固線溶系マーカーの経時変化の特徴と治療戦略. 日本脳神経外科学会総会 (第 75 回) (福岡), 2016. 9.
- 6) 中江竜太<sup>1,2)</sup>, 高山泰広<sup>2)</sup>, 横堀将司<sup>2)</sup>, 直江康孝<sup>2)</sup>, 佐藤秀貴<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup>, 鈴木謙介<sup>1)</sup>, 兵頭明夫<sup>1)</sup> (1) 独協医科大学越谷病院脳神経外科, 2) 日本医科大学救急医学) : 重症頭部外傷の予後予測因子と治療戦略. 日本脳神経外傷学会 (第 40 回) (東京), 2017. 3.
  - 7) 荒木 尚, 横田裕行, 師田信人<sup>1)</sup> (1) 東京都立小児総合医療センター脳神経外科) : Abusive Head Trauma に対する脳神経外科的治療の意義: 単純事故症例との転帰比較. 日本脳神経外傷学会 (第 40 回) (東京), 2017. 3.
  - 8) 高山泰広, 横田裕行, 佐藤秀貴, 荒木 尚, 横堀将司, 中江竜太: 脳圧センサー・ハンズオンセミナーからみる脳神経外傷の研修について. 日本脳神経外傷学会 (第 40 回) (東京), 2017. 3.
  - 9) 金 史英, 増野智彦, 萩原 純, 萩原一樹, 瀧口 徹, 萩原令彦, 辻井厚子, 新井正徳, 横田裕行: 出血制御を要した腹腔内出血, 後腹膜出血症例の検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 53 回) (横浜), 2017. 3.
  - 10) 横田裕行<sup>1,3)</sup>, 荒木 尚<sup>1,3)</sup>, 有賀 徹<sup>2,3)</sup> (1) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野, 2) 独立行政法人労働者健康安全機構, 3) 臓器移植関連学会協議会臓器提供施設体制整備委員会) : 円滑な脳死下臓器提供に向けて. 日本臨床倫理学会第 5 回年次大会 (東京), 2017. 3.
  - 11) 横堀将司, 末廣栄一, 黒田泰弘, 小畠仁司, 河北賢哉, 八ツ繁寛, 畠本恭子, 中村普彦, 宮城知也, 平尾朋仁: HOPES Trial: 局所性脳損傷患者に対する早期導入脳低温療法の有効性の検討: 進捗と課題. 日本脳低温療法・体温管理学会 (第 19 回) (松山), 2016. 7.
  - 12) 横堀将司, 横山瑞恵, 山崎直人, 斎藤徳子, 金谷貴大, 山名英俊, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行: 重症熱中症に対する血管内冷却法を用いた冷却効果の検討. 日本脳低温療法・体温管理学会 (第 19 回) (松山), 2016. 7.
  - 13) Yokobori S, Spurlock M<sup>1)</sup>, Lee S<sup>1)</sup>, Gajavelli S<sup>1)</sup>, Bullock R<sup>1)</sup>, Hiroyuki Y (1) Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine, Miami FL, USA) : Challenges with Lab to Bed, Bed to Lab Endless Cascade for the Innovation of Treatment for Traumatic Brain Injury. 日本脳神経外科学会学術総会 (第 76 回) (福岡), 2016. 10.
  - 14) 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 岡田一宏<sup>1)</sup>, 久城正紀<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 院内感染症に対する qSOFA スコアの診断制度の検査. 日本集中治療医学会学術集会 (第 44 回) (札幌), 2017. 3.
  - 15) 渥美生弘<sup>1)</sup>, 後藤 励<sup>2)</sup>, 坂本哲也<sup>3)</sup>, 森村尚登<sup>4)</sup>, 長尾 建<sup>5)</sup>, 浅井康文<sup>6)</sup>, 横田裕行, 田原良雄<sup>7)</sup>, 長谷 守<sup>8)</sup>, 酒井未知<sup>9)</sup> (1) 聖隸浜松病院救命救急センター, 2) 慶應義塾大学大学院経営管理研究所, 3) 帝京大学救急医学, 4) 横浜市立大学救急医学, 5) 日本大学病院循環器センター, 6) 函館新都市病院, 7) 国立循環器病研究センター心臓血管内科, 8) 札幌禪心会病院心臓血管センター, 9) ヘルスサービス R&D センター (CHORD-J)) : ECPR 導入における費用対効果. 日本集中治療医学会学術集会 (第 44 回) (札幌), 2017. 3.
  - 16) 小畠仁司<sup>1)</sup>, 黒田泰弘<sup>1)</sup>, 木下浩作<sup>1)</sup>, 永山正雄<sup>1)</sup>, 坂本哲也<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 大阪府三島救命救急センター, 2) 香川大学医学部救急災害医学, 3) 日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学, 4) 国際医療福祉大学熱海病院神経内科, 脳卒中・神経センター, 5) 帝京大学医学部救急医学) : Emergency Neurological Life Support (ENLS) コースの日本開催と今後の展開. 日本集中治療医学会学術集会 (第 44 回) (札幌), 2017. 3.
  - 17) Yamada M<sup>1,3)</sup>, Matsuda A<sup>2)</sup>, Aiso S<sup>3)</sup>, Masuno T, Matsumoto H<sup>1)</sup>, Miyashita M<sup>2)</sup>, Yokota H (1) Department of Shock and Trauma Center/Hokusoh HEMS, Nippon Medical School Chiba Hokuso Hospital, 2) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokuso Hospital, 3) Department of Anatomy, Keio University School of Medicine) : A novel therapeutic seeds protecting from chronic cognitive impairment in post-intensive care unit syndrome. 国際脳神経救急・集中治療合同シンポジウム (東京), 2016. 11.
  - 18) 荒木 尚, 横田裕行: 臓器提供施設における体制整備の努力を振り返る. 日本臨床腎移植学会 (第 50 回) (神戸), 2017. 2.
  - 19) 石川秀樹<sup>1,2)</sup>, 伊藤雅史<sup>1,2)</sup>, 山澤文裕<sup>2)</sup>, 石原 哲<sup>1)</sup>, 宮崎舜賢<sup>1)</sup>, 田中秀治<sup>2)</sup>, 三橋敏武<sup>2)</sup>, 真鍋知宏<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup>, 猪口正孝<sup>1)</sup> (1) 東京都医師会救急委員会, 2) 東京マラソン医療救護対策検討部会) : 東京マラソンから東京オリンピック・パラリンピックへの繋ぐ医療体制. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 20) 岡田一宏<sup>1,2)</sup>, 斎藤伸行<sup>1,2)</sup>, 八木貴典<sup>1,2)</sup>, 原 義明<sup>1,2)</sup>, 松本 尚<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本医科大学付属病院救急医学) : 外傷症例における venous thromboembolism (VTE) 発生の予測に対する D-dimer の有用性の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 21) 山田真吏奈<sup>1,3)</sup>, 松田明久<sup>2)</sup>, 相磯貞和<sup>3)</sup>, 増野智彦, 松本 尚<sup>1)</sup>, 宮下正夫<sup>2)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 慶應義塾大学医学部解剖学教室) : 全身炎症が脳機能に与える影響の検討から得られた治療シリーズ: 基礎研究. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 22) 荒木 尚, 川井 真, 宮内雅人, 須崎 真, 若栗浩明, 桐木園子, 横堀将司, 恩田秀賢, 栗本健太郎, 横田裕行: 多発外傷患者における頭部外傷診療の意義. 救急整形外傷シンポジウム (第 22 回) (札幌), 2016. 6.
  - 23) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 栗本健太郎, 恩田秀賢, 五十嵐豊, 山口昌紘, 高山泰広, 佐藤秀貴, 北蘭雅敏, 森田明

- 夫：小児重症頭部外傷による頭蓋内圧亢進に対する治療選択と減圧開頭術の適応. 日本小児救急医学会（第30回）（仙台），2016. 7.
- 24) Araki T, Miyauchi M, Suzaki M, Degawa R, Wakakuri H, Saegusa T, Onodera N, Kirinoki S, Ohara T, Hyodo H, Kawai M, Yasutake M, Yokota H, Morita A, Ito Y : Characteristics and management of mild traumatic brain injury with intracranial hemorrhagic lesion in children. 日本病院総合診療医学会（第13回）（東京），2016. 9.
- 25) 増野智彦, 横田裕行：出血性ショック患者に対する人工血液の効果と問題点. 日本血液代替物学会年次大会（第23回）（東京），2016. 11.
- (6) パネルディスカッション：
- 1) 横堀将司, 金谷貴大, 繁瀬健太, 恩田秀賢, 飯本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行：外傷診療標準化は多発外傷合併頭部外傷の転帰を改善したか？日本頭部外傷データバンク登録症例による検討. 日本臨床救急医学会総会・学術集会（第19回）（福島），2016. 5.
  - 2) 荒木 尚：虐待による頭部外傷の特徴と治療. 日本小児医療政策研究会（第13回）（東京），2017. 3.
  - 3) 石川秀樹<sup>1)</sup>, 石原 哲<sup>1)</sup>, 宮崎舜賢<sup>1)</sup>, 横山隆捷<sup>1)</sup>, 小山英樹<sup>1)</sup>, 大桃丈知<sup>1)</sup>, 三浦邦久<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup>, 伊藤雅史<sup>1)</sup>, 猪口正孝<sup>1)</sup> (1) 東京都医師会救急委員会)：東京都における高齢者救急：東京を都民の終の棲家とするために. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 4) 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 竹ノ下尚子<sup>1)</sup>, 望月 徹<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学武藏小杉病院救命救急センター)：病院前救護における熱傷初期診療標準化. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 5) 松本 尚<sup>1)</sup>, 竹島茂人<sup>3)</sup>, 益子一樹<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学救急医学, 2) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 3) 自衛隊中央病院救急科)：陸上自衛隊野外手術システムの展開と外傷診療チームの編成. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 6) 塚本剛志, 川井 真, 横田裕行：“Preventable Trauma Disability”を減らすための挑戦. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 7) 原 義明<sup>1)</sup>, 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 益子一樹<sup>1)</sup>, 飯田浩章<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>1)</sup>, 中山文彦<sup>1)</sup>, 岡田一宏<sup>1)</sup>, 川井 真, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)：Preventable Disability撲滅のためには外傷センターの質を担保する必要がある. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 8) 横堀将司, 金谷貴大, 山口昌絵, 萩原 純, 石井浩統, 恩田秀賢, 飯本健太郎, 荒木 尚, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行：心停止患者における転帰予測と治療：Biomarker-based treatment strategyへの挑戦. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 9) 木下順弘<sup>1)</sup>, 横田裕行, 小池 薫<sup>2)</sup>, 織田 順<sup>3)</sup> (1) 救急医療における終末期医療のあり方に関する委員会（国立病院機構大阪医療センター）, 2) 京都大学初期診療・救急医学, 3) 東京医科大学救急・災害医学)：救急医療における終末期症例WEB登録の最終結果について. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 10) 荒木 尚<sup>1,2)</sup>, 市川光太郎<sup>1)</sup>, 西山和孝<sup>1)</sup>, 新津健裕<sup>1)</sup>, 山本剛史<sup>1)</sup>, 種市尋宙<sup>1)</sup>, 長村敏生<sup>1)</sup>, 鶴 智光<sup>1)</sup>, 梅原 実<sup>1)</sup>, 里見 昭<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 日本小児救急医学会脳死問題検討委員会, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター)：小児の脳死および臓器移植に関する意識調査：日本小児救急医学会脳死問題検討委員会アンケート報告. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 11) 松本 尚, 原 義明, 八木貴典, 益子一樹, 斎藤伸行, 飯田浩章, 本村友一, 中山文彦, 岡田一宏, 安松比呂志, 横田裕行：超分子ゲルを用いたダメージコントロール手術時のパッキング素材の開発. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 12) 東 和明<sup>1)</sup>, 小山 敦<sup>2)</sup>, 村尾亮子<sup>2)</sup>, 新谷史明<sup>2)</sup>, 金子純也, 横田裕行 (1) 水戸済生会総合病院, 2) いわき市立総合磐城共立病院)：一酸化炭素(CO)中毒における顔色の評価と経皮的酸素飽和度(SpO2)の測定. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 13) 山田真吏奈<sup>1, 3)</sup>, 松田明久<sup>2)</sup>, 増野智彦<sup>3)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 宮下正夫<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>3)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本医科大学千葉北総病院外科, 3) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野)：救急医学研究を発展させるためにできること：基礎研究者の立場から. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
  - 14) 金 史英, 松居亮平, 塩田浩平, 瀧口 徹, 石木義人, 萩原 純, 萩原令彦, 石井浩統, 増野智彦, 新井正徳, 横田裕行：広範囲腹壁欠損を伴い、複数回の出血性ショックイベントを併発した劇症型大腸アメーバの1例から学ぶ. 日本Acute Care Surgery学会学術集会（第8回）（大阪国際会議場），2016. 9.
- (7) セミナー：
- 1) 横田裕行：脳死判定にほける補助検査. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会（第29回）（東京），2016. 6.
  - 2) 横堀将司：血管内体温管理法の現状と可能性. 日本脳低温療法・体温管理学会（第19回）（松山），2016. 7.

- 3) 横堀将司：脳室ドレナージ. JSEPTIC セミナー（第 29 回）(東京), 2016. 9.
- 4) 横堀将司：救急・集中治療領域における持続脳波測定の有用性. 日本救急医学会総会・学術集会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
- 5) 荒木 尚：薬物療法. 脳神経救急・集中治療セミナー（東京）, 2016. 11.
- 6) 荒木 尚：脳死判定. 小児救急における脳死患者の対応セミナー（仙台）, 2016. 7.
- 7) 荒木 尚：小児外傷の特徴と諸問題. 医研セミナー（札幌）, 2016. 10.
- (8) ワークショッピング：
- 1) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 粕本健太郎, 恩田秀賢：救急・集中治療における一般の脳死判定の現況と患者対応に関する研究. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会（第 29 回）(東京), 2016. 6.
  - 2) 藤田昌久<sup>1)</sup>, 工藤大介<sup>2)</sup>, 加藤康幸<sup>2)</sup>, 椎野泰和<sup>2)</sup>, 佐々木淳一<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 日本医科大学付属病院医療安全管理部感染制御室, (2) 救急外来部門における感染対策検討 (ERIC) ワーキンググループ)：救急外来部門における感染対策：ハード面からの提言. 日本救急医学会総会・学術集会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
  - 3) 椎野泰和<sup>1)</sup>, 池田弘人<sup>2)</sup>, 工藤大介<sup>2)</sup>, 志馬伸朗<sup>2)</sup>, 佐々木淳一<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 川崎医科大学救急医学, (2) 日本救急医学会救急外来部門における感染対策検討委員会)：救急外来部門における感染対策：ソフト面からの提言. 日本救急医学会総会・学術集会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
  - 4) 志馬伸朗<sup>1)</sup>, 柳原克紀<sup>1)</sup>, 佐々木淳一<sup>1)</sup>, 池田弘人<sup>1)</sup>, 工藤大介<sup>1)</sup>, 椎野泰和<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本救急医学会救急外来部門における感染対策検討委員会)：救急外来における微生物検査. 日本救急医学会総会・学術集会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
  - 5) 森田正則<sup>1)</sup>, 横田順一朗<sup>1)</sup>, 佐々木淳一<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 堺市立総合医療センター救命救急センター, (2) 日本救急医学会救急外来部門における感染対策検討委員会)：病院前における感染対策予防策の現状と課題. 日本救急医学会総会・学術集会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
- (9) ポスター：
- 1) 萩原 純, 金谷貴大, 桑原広輔, 横堀将司, 金 史英, 横田裕行：救命センターで経験した重症筋無力症の 1 例. 日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 19 回）(福島), 2016. 5.
  - 2) 宮内雅人, 山名英俊, 萩原 純, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行：救急現場における最適な呼吸数計測方法の検討：呼吸数測定器 Nellcor PM1000N の使用経験. 日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 19 回）(福島), 2016. 5.
  - 3) 稲毛俊介<sup>1)</sup>, 岡田 慧<sup>1)</sup>, 萩上友梨香<sup>1)</sup>, 渡邊友佳<sup>1)</sup>, 恩田秀賢, 横堀将司, 粕本健太郎, 布施 明, 片山志郎<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学付属病院薬剤部)：急性脳損傷患者に対するアセトアミノフェン静注製剤の有効性に関する検討. 日本臨床救急医学会総会・学術集会（第 19 回）(福島), 2016. 5.
  - 4) 九城正紀<sup>1)</sup>, 益子一樹<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>1)</sup>, 安松比呂志<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 原 義明<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行, 千葉県交通事故調査委員会 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)：千葉県におけるラピッドカー運用の提言. 日本病院前救急診療医学会学術集会（第 11 回）(岡山), 2016. 12.
  - 5) 池田有紗<sup>1)</sup>, 倉持有希<sup>2)</sup>, 永射新司<sup>2)</sup>, 横堀将司, 山名英俊, 梅本一紀, 鶴町宗大, 油原信二, 寺岡晋太郎, 萩原令彦, 小笠原智子, 恩田秀賢, 石井浩統, 増野智彦, 宮内雅人, その他 2 名 (1) 医学部第 3 学年, (2) 東京消防庁日本医大委託研修生)：高度救命救急センターにおける急性中毒患者の転帰決定因子の検討. 日本医科大学医学会総会（第 84 回）(東京), 2016. 9.
  - 6) 平形希利慧<sup>1)</sup>, 萩原 純, 山口昌絵, 桑原広輔, 瀧口 徹, 横堀将司, 金 史英, 横田裕行, 斎藤 研<sup>2)</sup>, 児玉詠美<sup>2)</sup>, 玉井秀明<sup>2)</sup>, 林田眞喜子<sup>3)</sup> (1) 医学部第 5 年生, (2) 日本医科大学付属病院初期臨床研修医, (3) 法医学)：当初診断に苦慮した有機リン中毒の 1 例：過去 10 年間の症例を振り返る. 日本医科大学医学会総会（第 84 回）(東京), 2016. 9.
  - 7) 中井将人<sup>1)</sup>, 朝倉隆之, 横堀将司, 後藤祥子, 大塚悠介, 小林純子, 塩田浩平, 金谷貴大, 萩原一樹, 石木義人, 塚本剛志, 粕本健太郎, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行, その他 1 名 (1) 医学部第 3 学年)：ラット急性硬膜下血腫モデルにおける行動実験評価：神経再生医療を目指して. 日本医科大学医学会総会（第 84 回）(東京), 2016. 9.
  - 8) 山本雅貴<sup>1)</sup>, 倉持有希<sup>2)</sup>, 永射新司<sup>2)</sup>, 横堀将司, 山名英俊, 斎藤 研, 児玉詠美, 土方奈奈子, 玉井秀明, 桑原広輔, 山口昌絵, 瀧口 徹, 萩原 純, 金 史英, 増野智彦, その他 2 名 (1) 医学部第 3 学年, (2) 東京消防庁日本医大委託研修生)：ドクターカーによる外傷患者病院前救護の有用性の検討. 日本医科大学医学会総会（第 84 回）(東京), 2016. 9.
  - 9) 中村真寿美<sup>1)</sup>, 萩原 純, 瀧口 徹, 山口昌絵, 桑原広輔, 横堀将司, 金 史英, 増野智彦, 横田裕行, 根井貴仁<sup>2)</sup> (1) 日本医科大学付属病院初期臨床研修医, (2) 日本医科大学付属病院医療安全管理部感染制御質)：ピロリ菌 3 次除菌を契機に劇症型クロストリジウム・ディフィシル感染症を発症した 1 例. 日本医科大学医学会総会（第 84 回）(東京), 2016. 9.
  - 10) 大塚悠介, 石木義人, 沼尾紳一郎, 後藤祥子, 林 美香, 塩田浩平, 金谷貴大, 萩原一樹, 塚本剛志, 粕本健太郎, 金 史英, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行：突発性食道破裂に対し、経腹的アプローチで良好な経過を得た 1 例. 日本医科大学医学会総会（第 84 回）(東京), 2016. 9.
  - 11) 寺岡晋太郎, 山名英俊, 萩原令彦, 児玉 誠, 石井浩統, 恩田秀賢, 小笠原智子, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行：肺癌の腕頭動脈・右鎖骨下動脈浸潤による喀血に対して集学的治療により救命し得た 1 例. 日本医科大学医学会総会（第 84 回）(東京), 2016.

- 12) 後藤祥子, 塩田浩平, 小林順子, 大塚悠介, 金谷貴大, 萩原一樹, 石木義人, 塚本剛志, 森本健太郎, 辻井厚子, 横田裕行 : III 度熱中症に対し血管内冷却装置 Thermogard® を用いた急速冷却した1例. 日本医科大学医学会総会 (第84回) (東京), 2016. 9.
- 13) 小林純子, 萩原令彦, 児玉 誠, 寺岡晋太郎, 山名英俊, 石井浩統, 恩田秀賢, 小笠原智子, 新井正徳, 横田裕行, 伊藤路子<sup>1)</sup>, 岡部杏慈<sup>1)</sup>, 市山 進<sup>1)</sup>, 田中真百合<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学付属病院皮膚科) : 口腔内から食道粘膜が逸脱した類天疱瘡の1例. 日本医科大学医学会総会 (第84回) (東京), 2016. 9.
- 14) 山名英俊, 萩原 純, 横堀将司, 藤江 聰<sup>1)</sup>, 世良俊樹<sup>1)</sup>, 小井土雄一<sup>2)</sup>, 布施 明, 大友康裕<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター, (2) 国立病院機構災害医療センター救命救急科) : 都心部におけるドクターカーの有効性に関する一考察. 日本集中治療医学会学術集会 (第22回) (名古屋), 2017. 2.
- 15) 久城正紀<sup>1)</sup>, 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 岡田一宏<sup>1)</sup>, 太田黒崇伸<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>1)</sup>, 益子一樹<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 原 義明<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 外傷患者に対する挿管回避・肺炎予防を目的としたNPPV (Noninvasive Positive Pressure Ventilation). 日本集中治療医学会学術集会 (第44回) (札幌), 2017. 3.
- 16) 萩原 純, 中村真寿美, 瀧口 徹, 山口昌絵, 桑原広輔, 横堀将司, 金 史英, 増野智彦, 根井貴仁<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学付属病院医療安全部感染制御室) : ピロリ菌3次除菌を契機に劇症型クロストリジウム・ディフィシル感染症を発症した1例. 日本集中治療医学会学術集会 (第44回) (札幌), 2017. 3.
- 17) 菊池広子<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 望月 徹<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学武藏小杉病院救命救急センター) : ホメオゾールの登場がもたらす、治療法への影響. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- 18) 尊本浩司<sup>1,2)</sup>, 斎藤伸行<sup>1,2)</sup>, 八木貴典<sup>1,2)</sup>, 原 義明<sup>1,2)</sup>, 松本 尚<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, (2) 日本医科大学付属病院救急医学) : 頸椎頸髄損傷患者における外傷性椎骨動脈損傷の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- 19) 田畠輝海<sup>1)</sup>, 松園幸雅<sup>1)</sup>, 藤江康行<sup>1)</sup>, 勝守高士<sup>1)</sup>, 大嶋壽海<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 荒尾市民病院救急科) : イルベサルタン + アムロジビン配合錠の大量服薬により治療に難渋した1例. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- 20) 山田真吏奈, 増野智彦, 松本 尚, 横田裕行 : 早期の感染コントロールは、敗血症マウスモデルにおけるPICS脳機能障害を抑制させる. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- 21) 諸江雄太<sup>1)</sup>, 畠本恭子<sup>1)</sup>, 田上 隆<sup>1)</sup>, 金子純也<sup>1)</sup>, 福田令雄<sup>1)</sup>, 小柳正雄<sup>1)</sup>, 北橋章子<sup>1)</sup>, 田中知恵<sup>1)</sup>, 柴田あみ<sup>1)</sup>, 久野将宗<sup>1)</sup>, 工藤小織<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 待機的気管切開術の合併症は術者の卒後年数で差があるか?. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- 22) 秋山 豪<sup>1)</sup>, 佐竹秀一<sup>1)</sup>, 白石振一郎<sup>1)</sup>, 伊藤雅之<sup>2)</sup>, 土佐亮一<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 会津中央病院救命救急センター, (2) 会津中央病院外傷再建外科) : 集学的治療により救命し得た開放性骨盤骨折の1症例. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- 23) 萩原令彦, 金 史英, 足立国大, 吉野雄大, 松居亮平, 石井浩統, 萩原 純, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行 : 両閉鎖孔ヘルニアが併存していた腹壁瘢痕ヘルニア陥頓の1例. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- 24) 中山文彦<sup>1,2)</sup>, 益子一樹<sup>1,2)</sup>, 八木貴典<sup>1,2)</sup>, 斎藤伸行<sup>1,2)</sup>, 原 義明<sup>1,2)</sup>, 松本 尚<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, (2) 日本医科大学救急医学) : 鈍的胸部大動脈損傷治療の課題. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- 25) 須崎 真<sup>1)</sup>, 小原俊彦<sup>1)</sup>, 若栗大朗<sup>1)</sup>, 桐木園子<sup>1)</sup>, 小野寺直子<sup>1)</sup>, 兵働英也<sup>1)</sup>, 荒木 尚<sup>1,2)</sup>, 宮内雅人<sup>1,2)</sup>, 川井 真<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup>, 安武正弘<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学付属病院総合診療センター, (2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 大学病院救急外来を受診したてんかん・痙攣症例の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- (10) 一般講演 :
- 1) 塩田浩平, 松居亮平, 小林純子, 金谷貴大, 萩原一樹, 石木義人, 塚本剛志, 森本健太郎, 金 史英, 増野智彦, 横田裕行 : 全大腸壊死, 腹腔内膿瘍を形成した劇症型アーバ性大腸炎の一救命例. 日本救命医療学会総会・学術集会 (第31回) (福岡), 2016. 9.
  - 2) 萩原 純, 吉野雄大, 五十嵐豊, 横堀将司, 布施 明, 横田裕行 : 過去の経験で東京オリンピックに備えられるか. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第19回) (福島), 2016. 5.
  - 3) 中山文彦<sup>1,2)</sup>, 益子一樹<sup>1,2)</sup>, 本村雄一<sup>1,2)</sup>, 安松比呂志<sup>1,2)</sup>, 服部 陽<sup>1,2)</sup>, 阪本太吾<sup>1,2)</sup>, 原 義明<sup>1,2)</sup>, 斎藤伸行<sup>1,2)</sup>, 八木貴典<sup>1,2)</sup>, 飯田浩章<sup>1,2)</sup>, 濱尾卓生<sup>1,2)</sup>, 近田祐介<sup>1,2)</sup>, 岡田一宏<sup>1,2)</sup>, 松本 尚<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, (2) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野) : 鈍的外傷による下大静脈損傷の治療の課題. 日本外傷学会総会・学術集会 (第30回) (東京), 2016. 5.
  - 4) 奥寺 敬<sup>1)</sup>, 荒木 尚, 畠本恭子<sup>2)</sup>, 永山正雄<sup>3)</sup> (1) 富山大学大学院危機管理医学 (救急・災害医学), (2) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, (3) 国際医療福祉大学熱海病院神経内科, 同脳卒中・神経センター) : JRC蘇生ガイドライン2015・脳神経蘇生における頭部外傷およびSpinal Emergency の新設. 日本外傷学会総会・学術集会 (第30回) (東京), 2016. 5.

- 5) 松本 学<sup>1)</sup>, 岩瀬史朗<sup>1)</sup>, 井上潤一<sup>1)</sup>, 小林辰輔<sup>1)</sup>, 宮崎善史<sup>1)</sup>, 河野陽介<sup>1)</sup>, 木下大輔<sup>1)</sup>, 岩瀬弘明<sup>2)</sup>, 横田裕行 (1) 山梨県立中央病院救命救急センター, (2) 山梨県立中央病院整形外科) : 急性期バイオマーカーによる外傷凝固障害予測. 日本外傷学会総会・学術集会 (第30回) (東京), 2016. 5.
- 6) 石井浩統, 金 史英, 松居亮平, 萩原令彦, 萩原 純, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行 : 助骨骨折の胸腔鏡所見. 日本外傷学会総会・学術集会 (第30回) (東京), 2016. 5.
- 7) 佐々木晶子<sup>1)</sup>, 宮内雅人<sup>1,2)</sup>, 須崎 真<sup>1)</sup>, 荒木 尚<sup>1,2)</sup>, 川井 真<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup>, 安武正弘<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学総合診療センター, (2) 日本医科大学高度救命救急センター) : 軽症頭部外傷で来院, 異所性妊娠が判明した1例. 日本外傷学会総会・学術集会 (第30回) (東京), 2016. 5.
- 8) 坂本和嘉子<sup>1,2)</sup>, 増野智彦<sup>1)</sup>, 塚本剛志<sup>1)</sup>, 朝倉隆之<sup>1)</sup>, 趙 東威<sup>2)</sup>, バニヤータンナイン<sup>2)</sup>, 瀧澤俊広<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学救急医学, (2) 日本医科大学分子解剖学) : 正常ラット腸間膜リンパ液のmiRNAの安定性. 日本Shock学会総会 (第31回) (東京), 2016. 10.
- 9) 由井奏子, 恩田秀賢, 金谷貴大, 横堀将司, 梨本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行 : 両側瞳孔散大の急性硬膜下血腫で転帰良好であった1例. 日本神経救急学会学術集会 (第30回) (東京), 2016. 6.
- 10) 藤江 聰<sup>1)</sup>, 世良俊樹<sup>1)</sup>, 萩原 純, 横堀将司, 布施 明, 久野将宗<sup>2)</sup>, 故本恭子<sup>2)</sup>, 小井士雄<sup>-3)</sup>, 大友康裕<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 東京医科歯科大学附属病院救命救急センター, (2) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, (3) 災害医療センター救命救急科) : 東京ドクターレジストリ. 日本病院前救急診療医学会学術集会 (第11回) (岡山), 2016. 12.
- 11) 横堀将司, 金谷貴大, 山口昌絵, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行 : 頭部外傷患者における自動瞳孔計を用いた対光反射測定の臨床的意義. 日本脳神経外傷学会 (第40回) (東京), 2017. 3.
- 12) 松本 学<sup>1)</sup>, 岩瀬史朗<sup>1)</sup>, 井上潤一<sup>1)</sup>, 小林辰輔<sup>1)</sup>, 中野 真<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>3)</sup> (1) 山梨県立中央病院救命救急センター, (2) 山梨県立中央病院脳神経外科) : 救命救急センターにおける頭頸部外傷に対する血管内治療. 日本脳神経外傷学会 (第40回) (東京), 2017. 3.
- 13) 柴田あみ<sup>1)</sup>, 金子純也<sup>1)</sup>, 工藤小織<sup>1)</sup>, 北橋章子<sup>1)</sup>, 故本恭子<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 大腿筋膜を用いた頭蓋形成術の有用性. 日本脳神経外傷学会 (第40回) (東京), 2017. 3.
- 14) 恩田秀賢, 金谷貴大, 横堀将司, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行 : 両側瞳孔散大急性硬膜下血腫症例に対する治療の検討. 日本脳神経外傷学会 (第40回) (東京), 2017. 3.
- 15) 中村祐基, 石井浩統, 神戸勇人, 藤田彩恵, 若田部誠, 山名秀俊, 萩原令彦, 恩田秀賢, 小笠原智子, 根井貴仁, 増野智彦, 宮内雅人, 横田裕行 (1) 日本医科大学感染制御室) : 集中治療により救命した多臓器不全を伴うオウム病に対して救命した1例. 日本救急医学会関東地方会 (第67回) (栃木), 2017. 2.
- 16) 金谷貴大, 横堀将司, 瀧口 徹, 萩原 純, 塩田浩平, 小林純子, 土合昌巳, 青木宏信, 恩田秀賢, 増野智彦, 荒木 尚, 金 史英, 布施 明, 横田裕行 : 30分を超える心停止後に良好な帰転を得た小児重症頭部外傷の1例. 日本救急医学会関東地方会 (第67回) (栃木), 2017. 2.
- 17) 塩田浩平, 塚本剛志, 小林純子, 土合昌巳, 金谷貴大, 萩原一樹, 石木義人, 多賀麻里絵, 桑原広輔, 梨本健太郎, 宮内雅人, 新井正徳, 川井 誠, 横田裕行 : 救命医と形成外科医とのチーム医療・フルニエ壊疽の1例. 日本救急医学会関東地方会 (第67回) (栃木), 2017. 2.
- 18) 瀧口 徹, 金 史英, 萩原 純, 石井浩統, 小笠原智子, 萩原令彦, 石木義人, 萩原一樹, 小林純子, 土合昌巳, 新井正徳, 辻井厚子, 増野智彦, 横田裕行 : 外傷にECMOを導入し, 送血により損傷部に再出血を来たした1例. 日本救急医学会関東地方会 (第67回) (栃木), 2017. 2.
- 19) 樽本浩司<sup>1)</sup>, 山本真梨子<sup>1)</sup>, 阪本太吾<sup>1)</sup>, 中山文彦<sup>1)</sup>, 服部 陽<sup>1)</sup>, 安松比呂志<sup>1)</sup>, 益子一樹<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 液体大麻によるbody packerの1例. 日本腹部救急医学会総会 (第53回) (横浜), 2017. 3.
- 20) 三樹いづみ<sup>1)</sup>, 村田 智<sup>1)</sup>, 上田達夫<sup>1)</sup>, 杉原史恵<sup>1)</sup>, 安井大祐<sup>1)</sup>, 斎藤英正<sup>1)</sup>, 横田裕行, 渋田伸一郎<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学放射線医学) : 重症急性膵炎に対する膵局所動注療法の治療効果と合併症. 日本腹部救急医学会総会 (第53回) (横浜), 2017. 3.
- 21) 萩原一樹, 金 史英, 瀧口 徹, 石木義人, 萩原令彦, 石井浩統, 萩原 純, 小笠原智子, 増野智彦, 辻井厚子, 新井正徳, 横田裕行 : 広範囲の腹壁欠損をきたした劇症型アメーバ性大腸炎の1例. 日本腹部救急医学会総会 (第53回) (横浜), 2017. 3.
- 22) 萩原一樹, 金 史英, 小林純子, 塩田浩平, 金谷貴大, 瀧口 徹, 石木義人, 塚本剛志, 萩原令彦, 石井浩統, 萩原 純, 小笠原智子, 増野智彦, 辻井厚子, 新井正徳, その他3名 : 広範囲の腹壁欠損を合併したアメーバ性大腸炎の1例. 過大侵襲研究会 (東京), 2016. 9.
- 23) 横堀将司, 金谷貴大, 山口昌絵, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 梨本健太郎, 荒木 尚, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行 : 心停止後症候群における自動瞳孔計を用いた脳幹機能評価の有用性. 日本脳神経モニタリング学会 (第22回) (東京), 2016. 7.
- 24) 山名英俊<sup>1, 2)</sup>, 塩田浩平<sup>1)</sup>, 柳田邦昭<sup>1)</sup>, 青木宏信<sup>1)</sup>, 萩原令彦<sup>1)</sup>, 石井浩統<sup>1)</sup>, 恩田秀賢<sup>1)</sup>, 小笠原智子<sup>1)</sup>, 横堀将司<sup>1)</sup>, 塚本 剛<sup>1)</sup>, 増野智彦<sup>1)</sup>, 荒木 尚<sup>1)</sup>, 辻井厚子<sup>1)</sup>, 布施 明<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学付属病院救命救急科, (2) 筑波メディカルセンター病院救急診療科) : 洋上救急にて太平洋上より長距離搬送した広範囲熱傷の1例. 日本救急医学会関東地方会 (第67回) (栃木), 2017.

## 2.

- 25) 山本小奈実<sup>1)</sup>, 山勢博彰<sup>1)</sup>, 田戸朝美<sup>1)</sup>, 佐伯京子<sup>1)</sup>, 立野淳子<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻臨床看護学講座, <sup>2)</sup> 小倉記念病院) : 脳死下臓器提供における看護師の役割についてのガイドライン(案)作成. 日本集中治療医学会学術集会(第44回)(札幌), 2017. 3.
- 26) 岡田一宏<sup>1)</sup>, 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 久城正紀<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 原 義明<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 重症外傷における persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome の新診断基準. 日本集中治療医学会学術集会(第44回)(札幌), 2017. 3.
- 27) 藤木 悠<sup>1)</sup>, 亦野文宏<sup>1)</sup>, 久保田麻紗美<sup>1)</sup>, 鈴木雅規<sup>1)</sup>, 小南修二<sup>1)</sup>, 水成隆之<sup>1)</sup>, 小林士郎<sup>1)</sup>, 横田裕行, 森田明夫<sup>2)</sup> <sup>(1)</sup> 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科, <sup>2)</sup> 日本医科大学脳神経外科) : くも膜下出血予後予測因子としての Stress Index (BS/K ratio) の有用性. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 28) 並木 淳<sup>1)</sup>, 多村知剛<sup>1)</sup>, 関根和彦<sup>2)</sup>, 葉季久雄<sup>3)</sup>, 宮武 論<sup>4)</sup>, 横堀将司, 横田裕行, 堀 進悟<sup>1)</sup> <sup>(1)</sup> 慶應義塾大学医学部救急医学, <sup>2)</sup> 東京都済生会中央病院救急診療科, <sup>3)</sup> 平塚市民病院救急科, <sup>4)</sup> 済生会宇都宮病院救急科) : 瞳孔計を用いた対光反射の定量評価による蘇生後脳症の予後予測: 多施設共同前向き研究の進捗状況. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 29) 太田黒崇伸<sup>1)</sup>, 久城正紀<sup>1)</sup>, 近田祐介<sup>1)</sup>, 岡田一宏<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 原 義明<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 救急外来受診患者における quiuck Sepsis-Related Organ Failure Assessment (qSOFA) を用いた敗血症診断の検証. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 30) 藤江 聰<sup>1)</sup>, 世良俊樹<sup>1)</sup>, 山名英俊, 萩原 純, 久野将宗<sup>2)</sup>, 金村剛宗<sup>3)</sup>, 布施 明, 加地正人<sup>1)</sup>, 小井土雄<sup>1)</sup>, 横田裕行, 大友康裕<sup>1)</sup> <sup>(1)</sup> 東京医科歯科大学付属病院, <sup>2)</sup> 日本医科大学多摩永山病院, <sup>3)</sup> 国立病院機構災害医療センター) : 東京ドクターカーレジストリ2015. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 31) 工藤小織<sup>1)</sup>, 畠本恭子<sup>1)</sup>, 横田裕行, 柴田あみ<sup>1)</sup>, 谷 将星<sup>1)</sup>, 金子純也<sup>1)</sup>, 粕本健太郎, 田上 隆<sup>1)</sup> <sup>(1)</sup> 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 抗凝固, 抗血小板薬使用における脳出血の検討. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 32) 秋山真之<sup>1)</sup>, 小山 敦<sup>1)</sup>, 村尾亮子<sup>1)</sup>, 駒沢大輔<sup>2)</sup>, 足立国大<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> いわき市立総合磐城共立病院救命救急センター, <sup>2)</sup> いわき市立総合磐城共立病院消化器内科) : 暴露形態がほぼ同一でありながら経過に大きな差異を生した一酸化炭素中毒の2症例. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 33) 山本真梨子<sup>1,2)</sup>, 斎藤伸行<sup>1,2)</sup>, 益子一樹<sup>1,2)</sup>, 八木貴典<sup>1,2)</sup>, 原 義明<sup>1,2)</sup>, 松本 尚<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> <sup>(1)</sup> 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, <sup>2)</sup> 日本医科大学救急医学) : 外傷性肺囊胞18例に関する臨床的検討. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 34) 中江竜太<sup>1,2)</sup>, 高山泰広<sup>3)</sup>, 横堀将司<sup>3)</sup>, 直江康孝<sup>2)</sup>, 佐藤秀貴<sup>3)</sup>, 横田裕行<sup>3)</sup>, 鈴木謙介<sup>1)</sup>, 兵頭明夫<sup>1)</sup> <sup>(1)</sup> 独協医科大学越谷病院脳神経外科, <sup>2)</sup> 川口市立医療センター救命救急センター, <sup>3)</sup> 日本医科大学救急医学) : 重症頭部外傷患者における凝固線溶系マーカーの経時変化と予後予測. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 35) 阪本太吾<sup>1)</sup>, 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 原 義明<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 重症外傷を除外するためのDダイマーを用いたリスク評価. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 36) 中村俊介<sup>1)</sup>, 三宅康史<sup>2)</sup>, 清水敬樹<sup>3)</sup>, 小田泰崇<sup>3)</sup>, 神田 潤<sup>3)</sup>, 白石振一郎<sup>3)</sup>, 若杉雅浩<sup>3)</sup>, 横田裕行<sup>3)</sup> <sup>(1)</sup> 和歌山ろうさい病院救急科, <sup>2)</sup> 帝京大学救急医学講座, <sup>3)</sup> 日本救急医学会熱中症に関する委員会) : 热中症による中枢神経系後遺症の予後に関する検討: Heatstroke STUDY 2014 の結果分析より. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 37) 金子純也<sup>1)</sup>, 柴田あみ<sup>1)</sup>, 田中知恵<sup>1)</sup>, 田上 隆<sup>1)</sup>, 福田令雄<sup>1)</sup>, 北橋章子<sup>1)</sup>, 小柳正雄<sup>1)</sup>, 久野将宗<sup>1)</sup>, 諸江雄太<sup>1)</sup>, 畠本恭子<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 救急医にとってのIVR 救急医はどこまでIVRを行うべきか. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 38) 久城正紀<sup>1,2)</sup>, 斎藤伸行<sup>1,2)</sup>, 岡田一宏<sup>1,2)</sup>, 八木貴典<sup>1,2)</sup>, 益子一樹<sup>1,2)</sup>, 原 義明<sup>1,2)</sup>, 松本 尚<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> <sup>(1)</sup> 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, <sup>2)</sup> 日本医科大学救急医学講座) : 骨盤骨折に対する血管造影検査の適応. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 39) 平林篤志<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 平成26年度千葉県交通事故調査によるPTDの検証. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 40) 直江康孝<sup>1)</sup>, 小川太志<sup>1)</sup>, 中野公介<sup>1)</sup>, 米沢光平<sup>1)</sup>, 鈴木 剛<sup>1)</sup>, 中島靖浩<sup>1)</sup>, 細井康太郎<sup>1)</sup>, 徳田裕二<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> 川口市立医療センター救命救急センター) : 当院救命救急センターに入室した妊娠婦救急患者の実態. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 41) 松居亮平, 石井浩統, 萩原令彦, 萩原 純, 増野智彦, 金 史英, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: V-V-ECMO導入下に開胸開腹手術を行った突発性食道破裂の1救命例. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 42) 小川太志<sup>1)</sup>, 徳田裕二<sup>1)</sup>, 細井康太郎<sup>1)</sup>, 中島靖浩<sup>1)</sup>, 鈴木 剛<sup>1)</sup>, 米沢光平<sup>1)</sup>, 中野公介<sup>1)</sup>, 直江康孝<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>(1)</sup> 川口市立医療センター救命救急センター) : 上部消化管出血に対する外科的治療の検討. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016.

11.

- 43) 小田有哉<sup>1, 2)</sup>, 斎藤伸行<sup>1, 2)</sup>, 服部 陽<sup>1, 2)</sup>, 安松比呂志<sup>1, 2)</sup>, 益子一樹<sup>1, 2)</sup>, 原 義明<sup>1, 2)</sup>, 松本 尚<sup>1, 2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, (2) 日本医科大学救急医学) : 出血性胃潰瘍における再出血ハイリスクについての検討. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 44) Araki T, Yokota H, Akira F, Yokobori S, Onda H, Kuwamoto K : Therapeutic strategy for severe traumatic brain injury in children and indication of decompressive craniectomy-a single center experience. Annual Meeting of the International Society of Pediatric Neurosurgery (44th) (Kobe), 2016. 10.
- 45) 荒木 尚, 市川光太郎, 横田裕行, 森田明夫: 小児の脳死および臓器移植に関する意識調査: 日本小児救急医学会脳死問題検討委員会アンケート報告. 日本脳神経外科学会総会・学術集会(第75回)(福岡), 2016. 9.
- 46) 荒木 尚, 宮内雅人<sup>1)</sup>, 川井 真<sup>1)</sup>, 安武正弘<sup>1)</sup>, 須崎 真<sup>1)</sup>, 出口龍哉<sup>1)</sup>, 兵働英也<sup>1)</sup>, 桐木園子<sup>1)</sup>, 小野寺直子<sup>1)</sup>, 若栗大朗<sup>1)</sup>, 小原俊彦<sup>1)</sup>, 三枝太郎<sup>1)</sup>, 横田裕行, 森田明夫<sup>2)</sup>, 伊藤保彦<sup>3)</sup> (1) 日本医科大学総合診療科, (2) 日本医科大学脳神経外科, (3) 日本医科大学小児科) : 小児の軽症な頭部外傷の診断と入院適応 -頭蓋内出血性病変を有する症例の転帰から-. 日本病院総合診療医学会学術集会(第13回)(東京), 2016. 9.
- 47) 新井正徳, 金 史英, 萩原 純, 石井浩統, 萩原令彦, 瀧口 徹, 石木義人, 増野智彦, 小笠原智子, 横田裕行: 破裂性腹部大動脈瘤の術後 open abdomen となり両側腹直筋鞘前葉反転法により閉鎖した症例の長期合併症の検討. 日本 Acute Care Surgery 学会学術集会(第8回)(大阪), 2016. 9.
- 48) 新井正徳, 金 史英, 増野智彦, 石井浩統, 萩原 純, 横田裕行: Successful management of an early phase of abdominal wall reconstruction in patients with ruptured abdominal aortic aneurysm requiring open abdomen : A case report. Annual Congress of Korean Society of Acute Care Surgery (10th) (Busan, Korea), 2016. 4.
- 49) 瀧口 徹<sup>1)</sup>, 金 史英<sup>1)</sup>, 萩原一樹<sup>1)</sup>, 萩原 純<sup>1)</sup>, 石木義人<sup>1)</sup>, 石井浩統<sup>1)</sup>, 萩原令彦<sup>1)</sup>, 小笠原智子<sup>1)</sup>, 増野智彦<sup>1)</sup>, 新井正徳<sup>1)</sup>, 辻井厚子<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学付属病院 救命救急科) : V-V, V-A ECMO を導入した頭部外傷を伴う出血性ショック症例. 外傷症例検討会(東京), 2016. 11.
- 50) 瀧口 徹, 金 史英, 萩原一樹, 萩原 純, 石木義人, 石井浩統, 萩原令彦, 小笠原智子, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: 腹部刺創で腹腔動脈起始部損傷を生じ遅発性胃壊死を生じた1例. 日本 Acute Care Surgery 学会(第8回)(大阪), 2016. 9.
- 51) 恩田秀賢: くも膜下出血術後における髄液中 IL-6. STROKE 2017 (大阪), 2017. 3.
- 52) Araki T, Yokota H, Fuse A, Yokobori S, Kuwamoto K, Takayama Y : Selecting therapeutic methods from the neuro-intensive care protocol and indication of decompressive craniectomy in the management of severe traumatic brain injury in children. Annual Meeting of International Society for Pediatric Neurosurgery (44th), 2016. 10.
- 53) 松居亮平, 金 史英, 足立国大, 田山英樹, 岩井健司, 秋山真之, 石井浩統, 萩原令彦, 萩原 純, 増野智彦, 辻井厚子, 新井正徳, 横田裕行: 横行結腸癌による消化管穿孔術後の閉腹が困難であった1例 (. 日本臨床外科学会総会(第78回)(東京), 2016. 11.
- 54) 山田真吏奈, 千葉智宏<sup>1)</sup>, 松田明久<sup>2)</sup>, 相磯貞和<sup>3)</sup>, 増野智彦, 松本 尚, 横田裕行, 宮下正夫<sup>2)</sup> (1) 杏林大学医学部病理学, (2) 日本医科大学千葉北総病院外科, (3) 慶應義塾大学医学部解剖学) : PICS 病態におけるアストロサイトの役割. 外科侵襲とサイトカイン研究会(第23回)(東京), 2016. 7.
- 55) 萩原令彦, 金 史英, 足立国大, 吉野雄大, 岩井健司, 松居亮平, 石井浩統, 萩原 純, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: Video-assisted thoracoscopic surgery による骨片摘出と肋骨プレート固定術を併用した外傷性肋骨骨折の1例. 日本呼吸器外科学会総会(第33回)(京都), 2016. 5.
- 56) Irahara T<sup>1, 2)</sup>, Sato N<sup>2)</sup>, Otake K<sup>1, 2)</sup>, Inoue K<sup>3)</sup>, Koike K<sup>2)</sup>, Yokota H<sup>1)</sup> (1) Graduate School of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, (2) Department of Primary Care and Emergency Medicine, Kyoto University, (3) Laboratory of Nutrition Chemistry, Division of Food Science and Biotechnology, Graduate School of Agriculture, Kyoto University) : Neuromuscular Electrical Stimulation (NMES) can Improve Lipid Metabolism and Survival of the Acute Endotoxic Shock Mice. The 8th Congress of the International Federation of Shock Societies (Tokyo), 2016. 10.
- (11) 研修会 :
- 1) 荒木 尚: 脳死に至る病態と脳死判定について. 日本臓器移植ネットワーク研修会(東京), 2016. 4.
- (12) English Session :
- 1) 田上 隆<sup>1, 2)</sup>, 諸江雄太<sup>1)</sup>, 福田令雄<sup>1)</sup>, 田中知恵<sup>1)</sup>, 柴田あみ<sup>1)</sup>, 畠本恭子<sup>1)</sup>, 康永秀生<sup>2)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, (2) 東京大学公共健康医学専攻臨床疫学・経済学) : Antithrombin use and 28-day mortality in patients with severe burns : an observational nationwide study. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- (13) Joint Session :
- 1) 布施 明, 横堀将司, 荒木 尚, 横田裕行: あらためて秋葉原無差別殺傷事件の医療対応を振りかえる. 日本外傷学会総会・学術集

会（第30回）（東京），2016. 5.

(14) poster :

- 1) Araki T, Yokota H, Fuse A, Yokobori S, Kuwamoto K, Onda H, Morita A : Therapeutic strategy for severe traumatic brain injury in children and indication of decompressive craniectomy A single center experience. World Congress of Pediatric Intensive Care (8th) (Toronto, Canada), 2016. 6.
- 2) Yamada M, Chiba T<sup>1)</sup>, Matsuda A<sup>2)</sup>, Aiso S<sup>3)</sup>, Masuno T, Matsumoto H, Yokota H, Miyashita M<sup>2)</sup> (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, (2) Department of Pathology, Kyorin University School of Medicine, (3) Department of Anatomy, Keio University School of Medicine) : The Roll of Astrocytes in the Nervous System Dysfunction, Sepsis Induced Memory Impairment. The 8th Congress of the International Federation of Shock Societies (Tokyo), 2016. 10.
- 3) Otake K<sup>1,2)</sup> (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, (2) Department of Primary Care and Emergency Medicine, Kyoto University) : Lactoferrin Prevents Intestinal Epithelial Cell Damage Induced by Clostridium difficile Toxin B. The 8th Congress of the International Federation of Shock Societies (Tokyo), 2016. 10.
- 4) Sekiguchi K<sup>1)</sup>, Yamada M, Chiba T<sup>1)</sup>, Matsuda A<sup>2)</sup>, Aiso S<sup>3)</sup>, Masuno T, Matsumoto H, Yokota H, Miyashita M<sup>2)</sup>, Uchida E<sup>1)</sup> (1) Department of Surgery, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, (2) Department of Pathology, Kyorin University School of Medicine, (3) Department of Anatomy, Keio University School of Medicine) : S14G-Humanin Improves the Survival from Severe Sepsis. The 8th Congress of the International Federation of Shock Societies (Tokyo), 2016. 10.

(15) Up-to-Date セッション :

- 1) 小畠仁司<sup>1)</sup>, 黒田泰弘<sup>2)</sup>, 木下浩作<sup>3)</sup>, 永山正雄<sup>4)</sup>, 坂本哲也<sup>5)</sup>, 横田裕行, 有賀 徹<sup>6)</sup> (1) 大阪府三島救命・救急センター, (2) 香川大学医学部救急災害医学, (3) 日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学, (4) 国際医療福祉大学熱海病院神経内科, 脳卒中・神経センター, (5) 帝京大学医学部救急医学, (6) 昭和大学病院長) : Emergency Neurological Life Support (ENLS) コースの日本開催に向けて. 日本神経救急学会学術集会（第30回）（東京），2016. 6.

(16) ラウンドテーブルディスカッション :

- 1) 横田裕行：救命救急センター運営について 総論. 日本臨床知識学会第1回学術集会（東京），2017. 1.

(17) ワークショッピングビデオ :

- 1) 山本真梨子<sup>1)</sup>, 服部 陽<sup>1)</sup>, 阪本太吾<sup>1)</sup>, 中山文彦<sup>1)</sup>, 安松比呂志<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>1)</sup>, 益子一樹<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総行院救命救急センター) : 現場にて切迫心停止となった外傷性子宮筋腫破裂の1例. 日本腹部救急医学会総会（第53回）(横浜), 2017. 3.

(18) 学生・研修医セッション :

- 1) 阿部浩征<sup>1)</sup>, 中江竜太<sup>2)</sup>, 細井康太郎<sup>1)</sup>, 鈴木 剛<sup>1)</sup>, 米沢光平<sup>1)</sup>, 中野公介<sup>1)</sup>, 小川 太<sup>1)</sup>, 直江康孝<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 川口市立医療センター救命救急センター, (2) 独協医科大学越谷病院脳神経外科) : 大動脈縮窄症に合併したくも膜下出血の1例. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
- 2) 由井奏子, 恩田秀賢, 金谷貴大, 山口昌紘, 横堀将司, 粕本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行 : HITT により良好な転帰を得た両側瞳孔散大呈した急性硬膜下血腫症例の検討. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
- 3) 石川裕美子<sup>1)</sup>, 田上 隆<sup>1)</sup>, 諸江雄太<sup>1)</sup>, 福田令雄<sup>1)</sup>, 盤井佑輔<sup>1)</sup>, 久野将宗<sup>1)</sup>, 畠本恭子<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 突発性食道破裂に対して、ポリグリコール酸シートを内視鏡的に使用した1例. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.

(19) 関連セッション（シンポジウム）:

- 1) 益子一樹<sup>1)</sup>, 安松比呂志<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 原 義明<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 指導救命士とタッグで MC を育てる. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
- 2) 近田祐介<sup>1,2)</sup>, 八木貴典<sup>1,2)</sup>, 原 義明<sup>1,2)</sup>, 松本 尚<sup>1,2)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, (2) 日本医科大学救急医学) : 外傷性高次脳機能障害から子どもたちの未来を守る. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
- 3) 久野将宗<sup>1)</sup>, 久保田稔<sup>1)</sup>, 金子純也<sup>1)</sup>, 工藤小織<sup>1)</sup>, 田中知恵<sup>1)</sup>, 福田令雄<sup>1)</sup>, 北橋章子<sup>1)</sup>, 小柳正雄<sup>1)</sup>, 田上 隆<sup>1)</sup>, 諸江雄太<sup>1)</sup>, 畠本恭子<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 救命救急センター ICU における急性肺塞栓症予防に向けた深部静脈血栓症 (DVT) スクリーニング. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.

(20) 関連セッション（パネルディスカッション）:

- 1) 松園幸雄<sup>1)</sup>, 大嶋壽海<sup>1)</sup>, 勝守高士<sup>1)</sup>, 田畠輝海<sup>1)</sup>, 西 芳徳<sup>2)</sup>, 横田裕行 (1) 荒尾市民病院救急科, (2) 西整形外科医院) : 2次救急病院における ICT 導入. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.
- 2) 田上 隆<sup>1)</sup>, 畠本恭子<sup>1)</sup>, 久野将宗<sup>1)</sup>, 工藤小織<sup>1)</sup>, 諸江雄太<sup>1)</sup>, 小柳正雄<sup>1)</sup>, 北橋章子<sup>1)</sup>, 金子純也<sup>1)</sup>, 福田令雄<sup>1)</sup>, 田中知恵<sup>1)</sup>, 柴田あみ<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 重症救急疾患 big data・データベース構築と臨床研究への活用. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）（東京），2016. 11.

- 3) 菅原隆之<sup>1,2)</sup>, 佐藤格夫<sup>2)</sup>, 大嶽康介<sup>1,2)</sup>, 色田 悟<sup>2)</sup>, 井上和生<sup>3)</sup>, 小池 薫<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学救急医学, 2) 京都大学初期診療・救急医学, 3) 京都大学栄養化学) : 「もし大学病院の救急医が基礎研究をやつたら」: 臨床的視点からの基礎研究の重要性. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- (21) 救急科領域講習 :
- 1) 荒木 尚, 横田裕行: 小児救急医療の特徴と課題. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- (22) 講演 :
- 1) 荒木 尚: 小児頭部外傷の診療. 日本小児救急医学会 (第7回) 加賀百万石教育研修セミナー (金沢), 2016. 12.
  - 2) 横田裕行: 神経外傷治療の現状と未来ー重症頭部外傷と neurointensive care. 日本脳神経外科学会第75回学術総会 (福岡), 2016. 9.
  - 3) 横田裕行: 災害から身を守る: 自分の命, 家族の命. 海老名市医師会市民災害医療講習会 (神奈川), 2016. 10.
  - 4) 横田裕行: 頸部損傷への対応と評価のポイント. 音声・嚥下・呼吸の懇話会 (第20回) (東京), 2017. 1.
  - 5) 横田裕行: 多数傷病者発生時における対応要領. 平成29年度東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会勉強会 (東京), 2017. 2.
  - 6) 横田裕行: 救急における死体検案. 平成28年度死体検案研修会 (基礎) (東京), 2016. 11.
  - 7) 荒木 尚: 小児頭部外傷の診断と治療 不安と苦手意識をどう克服してきたか. 佐賀大学こどもセンター多科合同カンファレンス (第1回) (佐賀), 2016. 5.
  - 8) 荒木 尚: 小児外傷の特徴と諸問題. 日本看護協会認定看護学校 小児救急部門 (東京), 2016. 5.
  - 9) 荒木 尚: 私の附設 和して同じ道が教えてくれたもの. 久留米大学附設中学・高等学校第四地区保護者会 (久留米), 2016. 9.
  - 10) 荒木 尚: 僕の仕事と命の意味について: 中学時代に考えていたことから. 文京区立第八中学校 道徳地区公開講座 (東京), 2016. 9.
  - 11) 荒木 尚: いのちと心の授業: 救急医療の現場と中学時代に考えていたこと. 文京区立第六中学校 道徳地区公開講座 (東京), 2016. 11.
- (23) 特別セッション :
- 1) 久保達彦<sup>1)</sup>, 中山恵美子<sup>2)</sup>, 五十嵐豊, 夏川知輝<sup>3)</sup>, 島田千智<sup>4)</sup>, 富岡譲二<sup>5)</sup>, 小井土雄一<sup>6)</sup> (1) 産業医科大学医学部公衆衛生学, 2) 亀田総合病院救命救急部, 3) 大阪府済生会千里病院千里救命救急センター, 4) 国立感染症研究所, 5) 社会医療法人緑泉会米盛病院, 6) 国立病院機構災害医療センター, 7) 厚生労働省医政局災害対策室 DMAT 事務局) : The Minimum Data Set- 災害医療チームの活動日報に関する WHO 国際基準. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第22回) (名古屋), 2017. 2.
  - 2) 松園幸雄<sup>1)</sup>, 大嶋壽海<sup>1)</sup>, 勝守高士<sup>1)</sup>, 田畠輝海<sup>1)</sup>, 西 芳徳<sup>2)</sup>, 横田裕行 (1) 荒尾市民病院救急科, 2) 西整形外医院) : 熊本地震における当院の災害対策. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
  - 3) 石木義人, 増野智彦, 高橋聰子, 稲毛俊介, 松永 龍, 横田裕行: 熊本地震直後における当院の医療支援活動. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京), 2016. 11.
- (24) 要望演題 :
- 1) 石川秀樹<sup>1,2)</sup>, 伊藤雅史<sup>1,2)</sup>, 山澤文裕<sup>2)</sup>, 石原 哲<sup>1)</sup>, 宮崎舜賢<sup>1)</sup>, 田中秀治<sup>2)</sup>, 三橋敏武<sup>2)</sup>, 真鍋知宏<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup>, 猪口正孝<sup>1)</sup> (1) 東京都医師会救急委員会, 2) 東京マラソン医療救護対策検討部会) : 東京マラソンにおける近隣協力医療機関の準備状況と今後の課題. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第22回) (名古屋), 2017. 2.

## 著 書

### [追加分]

追加分著書 :

- 1) 新井正徳: [分担] 肝損傷の術後管理. 外傷の術後管理のスタンダードはこれだ! (清水敬樹), 2016; pp84-96, 羊土社.

## 学会発表

追加分教育講演 :

- 1) 横堀将司, 金谷貴大, 纔嶺健太, 金子純也, 恩田秀賢, 棚本健太郎, 荒木 尚, 畠本恭子, 布施 明, 横田裕行: 重症頭部外傷患者の神経集中治療. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.

追加分一般講演 :

- 1) Yokobori S, Hergenroeder G<sup>1)</sup>, Yokota H, Yamaguchi M, Kuroda Y<sup>1)</sup>, Kawakita K<sup>1)</sup>, Kobata H, Oda Y<sup>1)</sup>, Yatushige H<sup>1)</sup>, Nakamura Y<sup>1)</sup>, Hirao T<sup>1)</sup>, Tasaki O<sup>1)</sup>, Kaneko J, Unemoto K, Suehiro E<sup>1)</sup>, et al. (1) HOPES Investigators) : HOPES Trial : The randomized multicenter controlled trial for preoperative early-induced hypothermia and its scientific rationale. Symposium of

- the International Neurotrauma Society (12th) (Cape Town (South Africa)), 2016. 2.
- 2) 新井正徳, 金 史英, 萩原 純, 石井浩統, 松居亮平, 萩原令彦, 吉田直人, 足立国大, 吉野雄大, 小山 敦, 増野智彦, 辻井厚子, 横田裕行: 閉腹困難となった open abdomen の新たな治療戦略. 日本腹部救急医学会総会 (第52回) (東京), 2016. 3.
  - 3) 三宅康史<sup>1)</sup>, 横田裕行, 奥寺 敬<sup>2)</sup>, 小田泰崇<sup>3)</sup>, 北原孝雄<sup>4)</sup>, 清水敬樹<sup>5)</sup>, 白石振一郎<sup>6)</sup>, 坪倉正治<sup>7)</sup>, 中村俊介<sup>1)</sup>, 若杉雅治<sup>2)</sup> (1) 昭和大学医学部救急医学, (2) 富山大学大学院医学薬学研究部危機管理医学, (3) 山口大学大学院医学系研究科救急・生体侵襲制御医学分野, (4) 横浜旭中央総合病院脳血管センター, (5) 東京都立多摩総合医療センター救命救急センター, (6) 会津中央病院救命救急センター, (7) 東京大学医科学研究所) : 低体温症の実態 : Hypothermia STUDY2014 中間報告. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 4) 岡田一宏<sup>1)</sup>, 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 柴田あみ<sup>1)</sup>, 九城正紀<sup>1)</sup>, 阪本太吾<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 原 義明<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : Persistent inflammation, immunosuppression and catabolism syndrome (PICS) 発症の関連因子についての検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 5) 久野将宗<sup>1)</sup>, 金子純也<sup>1)</sup>, 磐井佑輔<sup>1)</sup>, 田上 隆<sup>1)</sup>, 諸江雄太<sup>1)</sup>, 谷 将星<sup>1)</sup>, 富永直樹<sup>1)</sup>, 福田令雄<sup>1)</sup>, 畠本恭子<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 心肺停止蘇生後に SSEP N-20 陰性から意識が回復した 2 症例. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 6) 松居亮平, 新井正徳, 石井浩統, 萩原令彦, 萩原 純, 増野智彦, 金 史英, 宮内雅人, 辻井厚子, 横田裕行: 当院における Open abdominal management (OAM) 症例の検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 7) 喜原隆之<sup>1,2)</sup>, 佐藤格夫<sup>2)</sup>, 大嶽康介<sup>1,2)</sup>, 斎藤龍史<sup>2)</sup>, 角田洋平<sup>2)</sup>, 森 智治<sup>2)</sup>, 大鶴 繁<sup>2)</sup>, 井上和生<sup>3)</sup>, 小池 薫<sup>2)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野, (2) 京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学分野, (3) 京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻栄養化学分野) : 敗血症早期の運動介入は PGC-1a を介して脂質代謝と生存率を改善する. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 8) 阪本太吾<sup>1)</sup>, 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 柴田あみ<sup>1)</sup>, 岡田一宏<sup>1)</sup>, 益子一樹<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 原 義明<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : ICU 再入室例の原因に関する検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 9) 斎藤伸行<sup>1)</sup>, 八木貴典<sup>1)</sup>, 岡田一宏<sup>1)</sup>, 阪本太吾<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>1)</sup>, 原 義昭<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 早期離床のための人工呼吸器離脱過程に関する検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 10) 松本 学<sup>1)</sup>, 岩瀬史明<sup>1)</sup>, 井上潤一<sup>1)</sup>, 小林辰輔<sup>1)</sup>, 宮崎善史<sup>1)</sup>, 河野洋介<sup>1)</sup>, 加藤頼子<sup>1)</sup>, 池田督司<sup>1)</sup>, 木下大輔<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1) 山梨県立中央病院救命・救急センター) : 脳低温療法施行症例における心肺停止後症候群脳モニタリング値の検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 11) 宮内雅人, 吉野雄大, 岩井健司, 松居亮平, 山名英俊, 石井浩統, 横堀将司, 増野智彦, 横田裕行: パルスオキシメーターを利用した呼吸数測定器 Nellcor PM1000N の使用経験. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.
  - 12) 山名英俊, 吉野雄大, 萩原 純, 石井浩統, 恩田秀賢, 横堀将司, 増野智彦, 宮内雅人, 布施 明, 横田裕行: ドクターカーにて早期介入し独歩自宅退院した VF の 1 例. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.

追加分シンポジウム :

- 1) 横堀将司, 山口昌紘, 五十嵐豊, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行: 心停止後症候群における転帰予測: 対光反射測定による脳幹機能評価の有用性. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.

追加分セミナー :

- 1) 横堀将司: 集中治療における神経モニタリング -Intensivist のための Minimum essential. 日本集中治療医学会学術集会 (第43回) (神戸), 2016. 2.

追加分招待講演 :

- 1) Yokobori S : Neuromonitoring. AO Neuro Symposium-Neurotrauma (Sendai Japan), 2016. 2.

## [武藏小杉病院救命救急センター]

### 研究概要

昨年度は国際学会参加や海外誌への論文掲載など充実した業績をあげたと思っていたが、その反動か今年度は活動が低調であった。発表論文は 5 本、著作は 2 冊、学会発表は 19 回に留まった。日々の救急診療に追われて臨床漬けの 1 年だったと改めて思うが、発表、論文も臨床の症例報告が主体であった。一方、松田が熱傷初期診療の標準化、望月が救急現場の感染制御という、ここ数年取り組んでいるテーマに沿ってシンポジウムなどで発表討議を重ねた。今後は基礎的研究を含めた系統的な医学研究に取り組んでいく必要があると痛感している。

## 研究業績

### 論 文

#### (1) 原著：

- 1) 森村尚登<sup>1)</sup>, 間田千晶<sup>2)</sup>, 安部 猛<sup>2)</sup>, 竹内一郎<sup>3)</sup>, 服部 潤<sup>3)</sup>, 服部響子<sup>4)</sup>, 高橋耕平<sup>2)</sup>, 本多英喜<sup>2)</sup>, 内山宗人<sup>2)</sup>, 松田 潔<sup>5)</sup>, 中川儀英<sup>6)</sup>, 浅利 靖<sup>3)</sup> (1) 東京大学大学院医学系研究科救急医学, 2) 横浜市立大学医学部救急医学教室, 3) 北里大学医学部救命救急医学, 4) 北里大学医学部産婦人科学産科学, 5) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 6) 東海大学医学部専門診療学系救命医学) : 地域災害医療計画策定のための新たな災害医療需給均衡指標 (災害医療リスクゾーン). J・J・DisastMed 2016; 21: 10-17.

#### (2) 総説：

- 1) 望月 徹<sup>1)</sup> (1) 感染制御部) : 地域の院内感染防止対策において臨床検査技師に求められる役割. 検査と技術 2016; 44 (11) : 1112-1113.

#### (3) 症例報告 :

- 1) 山村英治<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 黒川 顯<sup>1)</sup>, 岸 泰宏<sup>2)</sup> (1) 救命救急センター, 2) 精神科) : ヘリウムガス吸入による自殺未遂の1例. 中毒研究 2016; 29 (4) : 355-359.
- 2) 山村英治<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター) : 胸骨圧迫による横隔膜損傷を合併したと考えられた院外心停止の1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2017; 37 (1) : 57-59.
- 3) 山村英治<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 田島廣之<sup>2)</sup> (1) 救命救急センター, 2) 血管内・低侵襲治療センター) : シートベルトによる両側内胸動脈損傷に対して動脈塞栓術を施行した1例. 日本救急医学会雑誌 2017; 28 (1) : 1-8.

### 著 書

- 1) 松田 潔 : [分担] 外傷病院前救護ガイドライン. 救急・ICU すぐに役立つ超ガイドラインこれだけBOOK (阿南英明), 2017; pp42-46, メディカ出版.
- 2) 望月 徹<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター・感染制御部) : [分担] 地域の院内感染防止対策において臨床検査技師に求められる役割. 検査と技術, 2016; pp1112-1113, 医学書院.

### 学会発表

#### (1) シンポジウム :

- 1) 望月 徹<sup>1)</sup>, その他1名 (1) 救命救急センター・感染制御部) : 口腔機能管理と人工呼吸器関連肺炎 (口腔機能管理と外科感染症). 日本外科感染症学会総会・学術集会 (第66回) (東京都), 2016. 11.
- 2) 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 竹ノ下尚子<sup>1)</sup>, 望月 徹<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター) : 病院前における熱傷診療標準化への取り組み (熱傷診療の標準化). 日本熱傷学会関東地方会学術集会 (第44回) (東京都), 2017. 2.

#### (2) パネルディスカッション :

- 1) 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 竹ノ下尚子<sup>1)</sup>, 望月 徹<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 救命救急センター, 2) 附属病院高度救命救急センター) : 病院前救護における熱傷初期診療標準化 (熱傷初期診療標準化の挑戦). 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京都), 2016. 11.

#### (3) 一般講演 :

- 1) 山村英治<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター) : 抗菌薬投与により心停止となつた1例. 日本集中治療医学会総会 (第44回) (札幌市), 2017. 3.
- 2) 望月 徹<sup>1)</sup>, 野口周作<sup>1)</sup>, 上野ひろむ<sup>1)</sup>, 小林綾乃<sup>1)</sup>, 吉岡美香<sup>1)</sup> (1) 感染制御部) : 海外からの転院で多耐性菌対策を広範囲熱傷の1例. 日本感染症学会総会・学術講演会 (第90回) (仙台市), 2016. 4.
- 3) 望月 徹<sup>1)</sup>, その他1名 (1) 救命救急センター・感染制御部) : 海外からの転院で多耐性菌対策を徹底できた広範囲熱傷の1例. 神奈川県感染症医学会 (第80回) (横浜市), 2016. 9.
- 4) 菊池広子<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 望月 徹<sup>1)</sup>, 黒川 顯<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター) : 外傷性出血性ショックに対する緊急開腹術にて救命し得たものの, 術中覚醒を訴えた1症例. 日本外傷会総会・学術集会 (第30回) (東京都), 2016. 5.
- 5) 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 野口周作<sup>2)</sup>, 小林正人<sup>2)</sup>, 竹ノ下尚子<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター, 2) 薬剤部) : 病院間連携により中毒薬物血中濃度を緊急検査するネットワーク構築に関する調査. 日本中毒学会総会・学術集会 (第38回) (新潟市), 2016. 7.
- 6) 小林正人<sup>1)</sup>, 笠原英城<sup>1)</sup>, 野口周作<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>2)</sup>, 菊池広子<sup>2)</sup>, 石丸直樹<sup>2)</sup>, 遠藤広史<sup>2)</sup>, 山村英治<sup>2)</sup>, 渡邊顕弘<sup>2)</sup>, 長谷川智宏<sup>2)</sup> (1)

- 薬剤部, 2) 救命救急センター) : ホメピゾールを投与した急性メタノール中毒の1例. 日本中毒学会総会・学術集会(第38回)(新潟市), 2016. 7.
- 7) 菊池広子<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 望月 徹<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 救命救急センター, 2) 附属病院高度救命救急センター) : ホメゾールの登場がもたらす, 治療法への影響. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京都), 2016. 11.
  - 8) 渡辺 允<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター) : 転倒による両側下顎骨骨折を伴った1例. 日本救急医学会関東地方会・学術集会(第67回)(宇都宮市), 2017. 2.
  - 9) 森村尚登<sup>1)</sup>, 田中千晶<sup>2)</sup>, 高橋耕平<sup>2)</sup>, 内山宗人<sup>2)</sup>, 本多英喜<sup>2)</sup>, 服部 潤<sup>3)</sup>, 竹内一郎<sup>3)</sup>, 安部 猛<sup>2)</sup>, 服部響子<sup>4)</sup>, 松田 潔<sup>5)</sup>, 中川儀英<sup>6)</sup>, 浅利 靖<sup>3)</sup>, 猪口正孝<sup>7)</sup>, 勝見 敦<sup>8)</sup>, 吉原克則<sup>9)</sup>, その他1名 (1) 東京大学大学院医学研究科救急医学, 2) 横浜市立大学救急医学教室, 3) 北里大学医学部救命救急医学, 4) 北里大学医学部産婦人科学産科学, 5) 日本医科大学武藏小杉病院救命救急センター, 6) 東海大学医学部専門診療学系救命医学, 7) 平成立石病院, 8) 武藏野赤十字病院救命救急センター, 9) 東邦大学大森病院救命救急センター) : 災害対応計画における被災地域内災害拠点病院の予測医療需給均衡(RRR)と支援優先度(PMS)の類型化. 日本集団災害医学会・学術集会(第22回)(名古屋市), 2017. 2.
  - 10) 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 石室正輝<sup>1)</sup>, 小峰達也<sup>1)</sup>, 鈴木貴博<sup>2)</sup> (1) 救命救急センター, 2) 川崎市立井田病院) : 総合防災訓練における亜急性期災害医療の取組. 日本集団災害医学会・学術集会(第22回)(名古屋市), 2017. 2.
  - 11) 石原優里<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 望月 徹<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 田島廣之<sup>2)</sup> (1) 救命救急センター, 2) 血管内・低侵襲治療センター) : 非閉塞性腸間膜虚血性(NOMI)に対して保存的治療にて回復した1例. 日本腹部救急医学会・学術集会(第53回)(横浜市), 2017. 3.
  - 12) 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 門馬 治<sup>2)</sup>, 上野訓子<sup>2)</sup>, 斎藤桂輔<sup>2)</sup> (1) 救命救急センター, 2) 看護部) : 集中治療現場における救急救命士教育の現状と課題. 日本集中治療医学会・学術集会(第44回)(札幌市), 2017. 3.
  - 13) 遠藤広史<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 山村英治<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup>, 望月 徹<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター) : トロンボモジュリン32症例の検討. 日本集中治療医学会・学術集会(第44回)(札幌市), 2017. 3.
  - 14) 山村英治<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>1)</sup>, 菊池広子<sup>1)</sup>, 石丸直樹<sup>1)</sup>, 遠藤広史<sup>1)</sup>, 渡邊顕弘<sup>1)</sup>, 長谷川智宏<sup>1)</sup> (1) 救命救急センター) : 抗菌薬投与により心停止に至った1例. 日本集中治療医学会・学術集会(第44回)(札幌市), 2017. 3.
- (4) 特別セッション :
- 1) 中森知毅<sup>1)</sup>, 三田直人<sup>1)</sup>, 松田 潔<sup>2)</sup>, 菊池広子<sup>2)</sup>, 林 宗博<sup>3)</sup>, 中村光伸<sup>4)</sup> (1) 独立行政法人労働者健康安産機構横浜労災病院救命救急センター救急災害医療部, 2) 日本医科大学武藏小杉病院救命救急センター, 3) 日本赤十字社医療センター救命救急センター, 4) 前橋赤十字病院救命救急センター) : 熊本地震被害支援: 阿蘇地区災害保健医療復興連絡会議(ADRO)立ち上げの経緯と存在意義について(平成28年熊本地震). 日本救急医学会・学術集会(第44回)(東京都), 2016. 11.

## 著 書

### 〔追加分〕

追加分 :

- 1) 松田 潔 : [分担] 高齢者の外傷. 改訂第2版 JPTEC ガイドブック(一般社団法人JPTEC協議会), 2016; pp190-194, へるす出版.

## 学会発表

追加分ワークショップ :

- 1) 望月 徹<sup>1)</sup>, その他1名 (1) 救命救急センター・感染制御部) : 感染制御医の立場(救急外来部門における感染症対策). 日本救急医学会関東地方会学術集会(第66回)(東京都), 2016. 2.

## [多摩永山病院救命救急センター]

### 研究概要

当施設の臨床研究は、3次救急医療施設として、多発外傷のダメージコントロール、重症頭部外傷に対する脳保護療法、脳卒中急性期治療(血管内治療、手術)、中毒、災害医療の各テーマにわたり取り組んでいる。集中治療領域として、循環動態モニタリング、脳低温療法、神経生理学的モニタリングについて研究発表を行い、病院前診療としてドクター・アンビュランスや、救急救命士教育の検討も行っている。さらに、昨年度からDPCデータと病院前情報を統合したビッグデータの解析を開始した。

## 研究業績

### 論 文

#### (1) 原著 :

- 1) Matsumura Y, Tagami T, Nakada T, Shinozaki K, Nomura T, Tahara Y, Sakurai A, Yonemoto N, Nagao K, Yaguchi A, Morimura N : Nighttime is associated with decreased survival and resuscitation efforts for out-of-hospital cardiac arrests : a prospective observational study. *Critical Care* 2016 ; 20 (1) : 141-141.
- 2) Tagami T, Matsui H<sup>1)</sup>, Ishinokami S, Oyanagi M, Kitahashi A, Fukuda R, Unemoto K, Fushimi K<sup>2)</sup>, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo, (2) Department of Health Informatics and Policy, Tokyo Medical and Dental University Graduate School of Medicine) : Amiodarone or nifekalant upon hospital arrival for refractory ventricular fibrillation after out-of-hospital cardiac arrest. *Resuscitation* 2016 ; 109 : 127-132.
- 3) Tagami T, Matsui H<sup>1)</sup>, Kuno M, Moroe Y, Kaneko J, Unemoto K, Fushimi K<sup>2)</sup>, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo, (2) Department of Health Informatics and Policy, Tokyo Medical and Dental University Graduate School of Medicine) : Early antibiotics administration during targeted temperature management after out-of-hospital cardiac arrest : a nationwide database study. *BMC Anesthesiol* 2016 ; 16 (1) : 89-89.
- 4) Tagami T, Matsui H<sup>1)</sup>, Tanaka C, Kaneko J, Kuno M, Ishinokami S, Unemoto K, Fushimi K<sup>2)</sup>, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo, (2) Department of Health Informatics and Policy, Tokyo Medical and Dental University Graduate School of Medicine) : Amiodarone Compared with Lidocaine for Out-Of-Hospital Cardiac Arrest with Refractory Ventricular Fibrillation on Hospital Arrival : a Nationwide Database Study. *Cardiovasc Drugs Ther.* 2016 ; 30 (5) : 485-491.
- 5) Tagami T, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo) : The authors reply. *Critical Care Medicine* 2016 ; 44 (9) : 911-912.
- 6) Yamana H<sup>1)</sup>, Matsui H<sup>1)</sup>, Tagami T, Hirashima J<sup>1)</sup>, Fushimi K<sup>2)</sup>, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, University of Tokyo, (2) Department of Health Informatics and Policy, Tokyo Medical and Dental University Graduate School of Medicine) : De-escalation versus continuation of empirical antimicrobial therapy in community-acquired pneumonia. *J Infect* 2016 ; 73 (4) : 314-325.
- 7) Tanaka C, Kuno M, Yokota H, Tagami T, Nakada T, Kitamura N, Tahara Y, Sakurai A, Yonemoto N, Nagao K, Yaguchi A, Morimura N : Changes in atropine use for out-of-hospital cardiac arrest patients with non-shockable rhythm between 2002 and 2012. *Resuscitation* 2016 ; 101 : 5-6.
- 8) Tagami T, Matsui H<sup>1)</sup>, Moroe Y, Fukuda R, Shibata A, Tanaka C, Unemoto K, Fushimi K<sup>2)</sup>, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo, (2) Department of Health Informatics and Policy, Tokyo Medical and Dental University Graduate School of Medicine) : Antithrombin use and 28-day in-hospital mortality among severe-burn patients : an observational nationwide study. *Ann Intensive Care* 2017 ; 7 (1) : 18-26.

#### (2) 総説 :

- 1) 田上 隆 : 重症救急疾患の big data 解析 : DPC データベース研究からその先へ. *臨床麻酔* 2016 ; 40 (7) : 1009-1016.
- 2) Tagami T, Yasunaga H<sup>1)</sup>, Yokota H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo) : Antiarrhythmic drugs for out-of-hospital cardiac arrest with refractory ventricular fibrillation. *Critical Care* 2017 ; 21 (1) : 59-59.
- 3) 田上 隆 : ビッグデータからみた DIC 治療. *Coagulation & Inflammation* 2016 ; 2 (2) : 59-66.

#### (3) 症例報告 :

- 1) 久野将宗, 畑本恭子, 金子純也, 田上 隆, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 諸江雄太, 工藤小織, 田中知恵, 柴田あみ : 治療に難渋した虚血性心疾患による高齢者心肺停止蘇生後の1例. *日本救急医学会関東地方会雑誌* 2016 ; 37 (2) : 272-275.

### 著 書

- 1) 諸江雄太, 磐井佑輔, 田上 隆, 福田令雄, 畑本恭子 : [分担] 救急で遭遇する病態とその救急薬 : 3. 急性腹症の救急薬. *Modern Physician* (モダンフィジシャン) (木下浩作), 2016 ; pp553-557, (株) 新興医学出版社.
- 2) 畑本恭子 : [分担] 突然の意識障害. 今日の治療指針 2017 (福井次矢), 2017 ; pp9-10, 医学書院.
- 3) 畑本恭子 : [分担] 脳卒中. 救急・集中治療 エキスパートブック R35 (三宅康史), 2017 ; pp86-105, 日本医事新報社.

- 4) 金子純也, 畠本恭子 : [分担] 急性脳血管障害患者における輸液療法の実際. 救急医学 (佐藤版), 2016 ; pp1657-1663, へるす出版.
- 5) Tagami T, Yasunaga H<sup>1)</sup>, Yokota H (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, University of Tokyo, Graduate School of Medicine) : [分担] Antiarrhythmic Drugs for Out-of-hospital Cardiac Arrest with Refractory Ventricular Fibrillation. Annual Update in Intensive Care and Emergency Medicine 2017, 2017 ; pp59-65.
- 6) 田上 隆 : [分担] 心肺蘇生に関わる治療薬 : 難治性心室細動. 救急医学 (佐藤版), 2016 ; pp1495-1501, へるす出版.

## 学会発表

### (1) 特別講演 :

- 1) 田上 隆 : 2次救命処置における薬剤の効果 : 「ALPS」スタディ. 東京レサシテーションアカデミー 2017 (国士館大学世田谷キャンパス), 2017. 3.
- 2) 田上 隆 : 難治性VFに対するアミオダロンとリドカインの投与効果の比較 : a Nationwide Database Study. 東京レサシテーションアカデミー 2017 (国士館大学世田谷キャンパス), 2017. 3.
- 3) 田上 隆 : 日本のウツタインデータからわかること 病院内の集中治療 : 救命の連鎖の第5番目の輪. 東京レサシテーションアカデミー 2017 (国士館大学世田谷キャンパス), 2017. 3.
- 4) 田上 隆 : 集中治療室での「循環呼吸動態管理」: 経肺熱希釈法モニターによる評価. 沖縄県麻酔・集中治療研究会 (第46回) (沖縄), 2017. 3.

### (2) 招待講演 :

- 1) Tagami T : Still a place for any antiarrhythmic agents? - CPR. 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (第37回) (Brussels Belgium), 2017. 3.
- 2) Tagami T : Quantitative diagnosis of pulmonary edema using extravascular lung water-Hemodynamic monitoring : what is new?. 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (第37回) (Brussels Belgium), 2017. 3.
- 3) Tagami T : Severe burns. 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (第37回) (Brussels Belgium), 2017. 3.
- 4) Tagami T : Hospital triage of the patient after cardiac arrest-Before the ICU. 37th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (第37回) (Brussels Belgium), 2017. 3.

### (3) 教育講演 :

- 1) 田上 隆 : ARDS : 肺血管外水分量と治療戦略. 日本呼吸療法医学会学術集会 (第38回) (名古屋), 2016. 7.

### (4) シンポジウム :

- 1) 久野将宗, 久保田稔, 金子純也, 工藤小織, 田中知恵, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 田上 隆, 諸江雄太, 畠本恭子, 横田裕行 : 救命救急センターICUにおける急性肺塞栓予防に向けた深部静脈血栓症(DVT)スクリーニング. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京都), 2016. 11.

### (5) パネルディスカッション :

- 1) 田上 隆, 畠本恭子, 久野将宗, 工藤小織, 諸江雄太, 小柳正雄, 北橋章子, 金子純也, 福田令雄, 田中知恵, 柴田あみ, 横田裕行 : 重症救急疾患 big date・データベース構築と臨床研究への活用. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京都), 2016. 11.
- 2) 金子純也, 久野将宗, 諸江雄太, 畠本恭子 : 現場での医療チームの活動について. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第22回) (名古屋), 2017. 2.

### (6) セミナー :

- 1) 畠本恭子 : 脳神経蘇生の脳卒中初期対応から再開通まで. 日本救急医学会総会・学術集会 (第44回) (東京都), 2016. 11.
- 2) 久野将宗 : CSCA-TTT. 7th seminar of disaster medicine in Laos,Vientiane (第7回) (Laos Vientiane), 2016. 12.
- 3) 田上 隆 : 循環呼吸動態管理 現時点のエビデンスとこれから向かうべき方向. 日本集中治療医学会学術集会 (第44回) (札幌), 2017. 3.
- 4) 畠本恭子 : 神経集中治療ハンズオン (神経集中治療の醍醐味を感じる). 日本集中治療医学会学術集会 (第44回) (札幌), 2017. 3.

### (7) 一般講演 :

- 1) 石之神小織, 畠本恭子, 北橋章子, 金子純也, 谷 将星, 松田 潔, 横田裕行 : 脳出血後のリハビリ中にDVTにより肺梗塞となつた2症例の検討. 日本脳卒中学会総会 (第41回) (札幌), 2016. 4.
- 2) 久野将宗, 久保田稔<sup>1)</sup>, 金子純也, 田中知恵, 福田令雄, 小柳正雄, 工藤小織, 諸江雄太, 北橋章子, 畠本恭子 (1)日本医科大学多摩永山病院中央検査室) : 入院後の急性肺塞栓症発症予防としての深部静脈血栓症(DVT)スクリーニングの取り組み. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第19回) (福島), 2016. 5.
- 3) Tagami T : Prophylactic Antimicrobials for severe burns. 3rd SepsEast conference 2016 (第3回) (Hungary Budapest), 2016.

11.

- 4) 柴田あみ, 金子純也, 工藤小織, 北橋章子, 畠本恭子, 横田裕行: 血管攣縮期後の手術待機中に多発脳梗塞を来したクモ膜下出血の1例. 日本脳神経外科学会関東支部学術集会(第130回)(東京都), 2016. 9.
- 5) 金子純也: 当センターにおける痙攣重責発作への対応. 町田Epilepsy Forum(町田), 2016. 9.
- 6) Kuno M, Arai T, Suzuki K, Harikae K: Disaster preparedness effort in south-tama, Tokyo region. 10th EUROPEAN CONGRESS ON EMERGENCY MEDICINE(第10回)(Austria Vienna), 2016. 10.
- 7) Tanaka C, Tagami T, Matsumoto H, Matsuda K, Kim S, Moroe Y, Fukuda R, Unemoto K, Yokota H: Recent trends in management strategy and 28-day mortality of blunt splenic injury in Japan: A nationwide trauma database study. Critical Care Canada Forum 2016(Canada Tronto), 2016. 10.
- 8) 金子純也, 柴田あみ, 田中知恵, 北橋章子, 福田令雄, 田上 隆, 小柳正雄, 工藤小織, 久野将宗, 諸江雄太, 畠本恭子, 粕本健太郎, 横田裕行: 当救命センターにおける重症クモ膜下出血(WFNSgrV)の治療成績. 日本脳神経外科学会第75回学術総会(第75回)(福岡), 2016. 9.
- 9) 畠本恭子, 柴田あみ, 谷 将星, 金子純也, 北橋章子, 工藤小織, 山崎道生<sup>1)</sup>, 玉置智規<sup>1)</sup>, 横田裕行, 森田明夫<sup>2)</sup> (1)日本医科大学多摩永山病院脳神経外科, (2)日本医科大学付属病院脳神経外科: 高齢者頭部外傷予後不良因子の検討. 日本脳神経外科学会第75回学術総会(第75回)(福岡), 2016. 9.
- 10) 田中知恵: 2004年から2014年の日本外傷データバンクを用いた脾損傷治療における予後の推移の検討. 多摩救命救急カンファレンス(第8回)(東京), 2016. 10.
- 11) 工藤小織, 畠本恭子, 横田裕行, 柴田あみ, 谷 将星, 金子純也, 粕本健太郎, 田上 隆: 抗凝固, 抗血小板薬使用における脳出血の検討. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 12) 田上 隆, 諸江雄太, 福田令雄, 田中知恵, 柴田あみ, 畠本恭子, 康永秀生<sup>1)</sup>, 横田裕行 (1)東京大学公共健康医学専攻臨床疫学・経済学: Antithrombin use and 28-day mortality in patients with severe burns: an observational nationwide study. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 13) 諸江雄太, 畠本恭子, 田上 隆, 金子純也, 福田令雄, 小柳正雄, 北橋章子, 田中知恵, 柴田あみ, 久野将宗, 工藤小織, 横田裕行: 待機的気管切開術の合併症は術者の卒後年数で差が出るか?. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 14) 金子純也, 柴田あみ, 田中知恵, 田上 隆, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 久野将宗, 諸江雄太, 畠本恭子, 横田裕行: 救急医にとってのIVR 救急医はどこまでIVRを行うべきか. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 15) 久野将宗, 大場次郎<sup>1, 2)</sup>, 菁原隆之<sup>1, 3)</sup>, 甲斐聰一郎<sup>1, 4)</sup>, 夏川知輝<sup>1, 2)</sup>, 上野 力<sup>1, 5)</sup>, 前川和彦<sup>1, 6)</sup> (1)災害人道医療支援会HuMA, (2)大阪府済生会千里病院, (3)京都大学医学部附属病院, (4)兵庫県災害医療センター, (5)晴山記念病院, (6)ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院: 国内災害における医療系NGOが果たせる新たな役割の可能性. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 16) Kuno M, Harikae K<sup>1)</sup>, Suzuki K<sup>2)</sup>, Arai T<sup>3)</sup>, Tokuoka K<sup>4)</sup> (1)Hino Municipal Hospital, (2)Nippon Sport Science University, (3)Tokyo Medical University Hachioji Medical Center, (4)Tokai University Hachioji Hospital): Web-nolo: The practical application of an online Chronology System. 13th Asia Pacific Conference on Disaster Medicine(第13回)(Tai Bangkok), 2016. 11.
- 17) 金子純也, 中野博之<sup>1)</sup>, 田中一貴<sup>1)</sup>, 鈴木健介, 柴田あみ, 田中知恵, 田上 隆, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 久野将宗, 工藤小織, 諸江雄太, 畠本恭子 (1)日本医科大学多摩永山病院循環器科: 近位部狭窄に起因する脳底動脈先端部閉塞に対して血栓回収後に狭窄部のステント留置を行った2症例. 日本脳神経血管内治療学会学術総会(第32回)(兵庫), 2016. 11.
- 18) Tanaka C, Tagami T, Moroe Y, Fukuda R, Iwai Y, Unemoto K, Kim S, Matsuda K, Matsumoto H, Yokota H: Trend of management and mortality for blunt splenic injury between 2004 and 2014 in Japan. 日本救急医学会総会・学術集会(第44回)(東京), 2016. 11.
- 19) 久野将宗, 大場次郎<sup>1)</sup>, 菁原隆之<sup>1)</sup>, 堤 由香<sup>1)</sup>, 松下明子<sup>1)</sup>, 成田桜子<sup>1)</sup>, 夏川知輝<sup>1)</sup>, 甲斐聰一郎<sup>1)</sup>, 上野 力<sup>1)</sup>, 前川和彦<sup>1)</sup> (1)特定非営利活動法人災害医療人道支援会(HuMA): 災害人道医療支援会(HuMA)の熊本地震への初期対応から見た今後の海外支援への可能性. 日本国際保健医療学会(第31回)(福岡), 2016. 12.
- 20) 柴田あみ, 金子純也, 工藤小織, 北橋章子, 畠本恭子, 横田裕行: 大腿筋膜を用いた頭蓋形成術の有用性. 日本脳神経外傷学会(第40回)(東京), 2017. 3.

論 文

〔追加分〕

追加分原著:

- 1) Tagami T, Matsui H<sup>1)</sup>, Fushimi K<sup>2)</sup>, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo, (2) Department of Health Informatics and Policy, Tokyo Medical

and Dental University Graduate School of Medicine) : Validation of the prognostic burn index : A nationwide retrospective study. Burns 2015 ; 41 (6) : 1169-1175.

- 2) Tagami T : Changes in treatments and outcomes among elderly patients with out-of-hospital cardiac arrest between 2002 and 2012 : A post hoc analysis of the SOS-KANTO 2002 and 2012. Resuscitation 2015 ; 97 : 76-82.

追加分研究報告書 :

- 1) Tagami T, Matsui H<sup>1)</sup>, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo) : Antithrombin and mortality in severe pneumonia patients with sepsis-associated disseminated intravascular coagulation : an observational nationwide study : repl. Journal of Thrombosis and Haemostasis 2015 ; 13 (4) : 680-682.
- 2) Tagami T, Yasunaga H<sup>1)</sup> (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo) : Reply to Legrand and Lafaurie. Clinical Infectious Diseases 2016 ; 62 (11) : 1465-1466.
- 3) Tagami T, Yasunaga H (1) Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine University of Tokyo) : Reply to Hueley. Clinical Infectious Diseases 2016 ; 62 (9) : 1193.

## 著 書

追加分 :

- 1) 畠本恭子 : [分担] 海外文献紹介 Prophylactic antibiotics ; 求む, 新しい知見. 救急医学, 2016 ; pp118-119, へるす出版.
- 2) 金子純也, 畠本恭子 : [分担] アナフィラキシーへの対応. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2015 ; pp709-715, 医学書院.

## 学会発表

追加分一般講演 :

- 1) Tagami T, Kuno M, Moroe Y, Kaneko J, Iwai Y, Unemoto K : Prophylactic Antimicrobials During Therapeutic Hypothermia After Out-of-hospital Cardiac Arrest : A Nationwide Database Study. The Society for Emergency Medicine In Singapore Annual Scientific Meeting/International Resuscitation Science Symposium of 2016 (Singapore), 2016. 2.

追加分シンポジウム :

- 1) 田上 隆 : SOS-KANTO2012 The 総括—過去・現在そして未来—第1班 Assessment Guidelines (G2000 versus G2010) Group. 日本救急医学会関東地方会学術集会 (第66回) (東京), 2016. 2.

追加分特別講演 :

- 1) 畠本恭子 : 質の高い脳蘇生を目指した心拍再開後ケアトレーニングについて. 日本脳神経外科救急学会 (第21回) (東京), 2016. 1.
- 2) 畠本恭子 : JATCO 共催企画 机上シミュレーション「～終末期の「選択肢提示」を中心に～」. 日本脳神経外科救急学会 (第21回) (東京), 2016. 1.
- 3) Tagami T : The fifth link in the chain of survival concept-After cardiac arrest. The 36th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (第36回) (Brussels Belgium), 2016. 3.
- 4) Tagami T : Quantitative diagnosis of ARDS using extravascular lung water-Respiratory monitoring in ARDS. The 36th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (第36回) (Brussels Belgium), 2016. 3.
- 5) Tagami T : Severe burns-Severe burns. The 36th International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (Brussels Belgium), 2016. 3.

## [千葉北総病院救命救急センター]

### 研究概要

当施設は千葉県北総地域の基幹救急医療施設として平成6年1月に開設し、その後、平成8年1月に千葉県で最初の日本救急医学会指導医指定施設に、同年11月に千葉県の基幹災害拠点病院に認可された。平成11年4月には県内8施設目の救命救急センターに認定され、各種学会、研究会において活発な活動を行っている。平成13年10月からは、厚生労働省のドクターへリ事業における千葉県の基地病院となり、千葉県及び茨城県南部で発生した重症外傷、薬物中毒、急性冠症候群、急性大動脈疾患、脳卒中などの様々な重症患者に対して早期の医療介入を行い、適切な治療を提供している。さらに、平成22年6月からはドクターへリ事業を補完する目的にラピッドカーの運用も開始し成果を挙げている。教育活動としては、JATEC, JPTEC, MCLS, ATOM, SSTMなどの標準化教育プログラムの指導者を多数擁し、医師、看護師、本学学生、救急救命士、専門学校生などへの質の高い救急医療教育を提供している。また、フライドクターを目指す医師のための教育プログラムも確立している。対外的にも千葉県の災害医療対策の中心的存在として、多数の訓練の企画立案、実

施に携わっている。研究テーマは、体幹部外傷や重症骨盤骨折の病態生理の解明に関する研究、外傷患者に対するダメージコントロールの効果に関する研究、救急医療システム、特に外傷システムや新たな小児重症救急医療体制の構築に関する研究、災害医療における現場動画転送に関する研究、メイカルコントロールに関する研究等、多岐に渡っている。また、日本大学工学部・理工学部や自動車メーカーと連携し、交通事故調査と損傷の解明に関する産学共同研究も行っている。これらの研究成果を国内学会、専門誌ばかりでなく国際学会や英文雑誌で発表し、広く内外に情報発信している。

## 研究業績

### 論 文

(1) 原著：

- 1) 本村友一、服部 陽、平林篤志、松本 尚、横田裕行<sup>1)</sup>、小出麻記子<sup>2)</sup>、重山香織<sup>2)</sup>、寺井孝宏<sup>2)</sup>、松本 勉<sup>3)</sup>、笹山 実<sup>4)</sup> (1) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野、<sup>2)</sup> 日本医科大学千葉北総病院看護部、<sup>3)</sup> 栄町消防本部、<sup>4)</sup> ちば消防共同指令センター)：スマートフォン動画伝送システムを使用した一般市民による救急通報（119番通報）の有用性. 日本臨床救急医学会雑誌 2016; 19 : 466-473.
- 2) 望月康廣<sup>1)</sup>、本村友一 (1) 日本大学工学部)：群衆事故災害予防に関するバイオメカニクス研究のアプローチ. 技術と社会の関連を巡って 2016; 16 (49).
- 3) 鈴木基継<sup>1)</sup>、本村友一 (1) 日本大学大学院)：胸部および腹部への圧迫が呼吸に及ぼす影響. 日本機械学会 2016; 16 (40).
- 4) 益子一樹、服部 陽、阪本太吾、中山文彦、安松比呂志、本村友一、齋藤伸行、八木貴典、原 義明、松本 尚：致死的外傷性腹腔内出血に対する DCR with DCS. 日本腹部救急医学会雑誌 2016; 36 (6) : 1037-1042.
- 5) 益子邦洋<sup>1)</sup>、本村友一 (1) 医療法人社団永生会 南多摩病院)：HEM-Net が推進する救急医療のイノベーション：D-Call Net の開発と運用. 近代消防 2016; 37-41.
- 6) Homma H<sup>1)</sup>, Oda J<sup>1)</sup>, Yukioka T<sup>1)</sup>, Hayashi S<sup>2)</sup>, Suzuki T<sup>1)</sup>, Kawai K<sup>1)</sup>, Nagata K<sup>1)</sup>, Sano H<sup>1)</sup>, Takyu H<sup>1)</sup>, Sato N<sup>3)</sup>, Taguchi H<sup>4)</sup>, Mashiko K, Azuhata T<sup>5)</sup>, Ito M<sup>6)</sup>, Fukuhara T<sup>7)</sup>, et al. (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Tokyo Medical University, (2) Department of Anatomy, Tokyo Medical University, (3) Department of Primary Care and Emergency Medicine, Graduate School of Medicine and University School of Medicine, Kyoto University, (4) Emergency Department, Ikoma City Hospital, (5) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nihon University Itabashi Hospital, (6) Department of Traumatology and Reconstruction Surgery, Fukushima Medical University, (7) Advanced Disaster Medical and Emergency Critical Care Center, Niigata University Medical and Dental Hospital) : Effectiveness of cadaver-based educational seminar for trauma surgery : skills retention after half-year follow-up. Acute Medicine & Surgery 2017; 4 (1) : 57-67.
- 7) Nishimoto T<sup>1)</sup>, Mukaigawa K<sup>1)</sup>, Tominaga S<sup>2)</sup>, Lubbe N<sup>3)</sup>, Kiuchi T<sup>3)</sup>, Motomura T, Matsumoto H (1) Nihon University, College of Engineering, Biomechanics Research Unit, (2) Nihon University, College of Science and Technology, (3) Toyota Motor Corporation, Vehicle Safty Development) : Serious injury prediction algorithm based on large-scale data and under-triage control. Accident Analysis and Prevention 2017; 98 : 266-276.
- 8) Matsuda A, Miyashita M, Matsumoto S, Sakurazawa N, Takahashi G, Matsutani T, Yamada M, Ushida E : Comparison between metallic stent and transanal decompression tube for malignant large-bowel obstruction. J Surg Res. 2016; 205 (2) : 474-81.
- 9) Sathornviriyapong S, Matsuda A, Miyasita M, Matsumoto S, Sakurazawa N, Kawano Y, Yamada M : Impact of Neoadjuvant Chemoradiation on Short-Term Outcomes for Esophageal Squamous Cell Carcinoma Patients : A Meta-analysis. Ann Surg Oncol. 2016; 23 (11) : 3632-40.
- 10) Hara Y, Ghazizadeh M<sup>1)</sup>, Shimizu H<sup>1)</sup>, Matsumoto H, Saito N, Yagi T, Mashiko K, Mashiko K, Kawai M<sup>2)</sup>, Yokota H<sup>2)</sup> (1) Department of Molecular Pathology, Institute of Gerontology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Kanagawa, Japan, (2) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Delayed expression of circulating TGF- $\beta$ 1 and BMP-2 levels in human nonunion long bone fracture healing. J Nippon Med Sch 2017; 84 (1) : 12-18.
- 11) Nobuyuki S<sup>1)</sup>, Kazuhiro S<sup>2)</sup>, Tetsu O<sup>3)</sup>, Takashi K<sup>4)</sup>, Yuya Y<sup>5)</sup>, Yuta T<sup>6)</sup>, Hiroshi A<sup>7)</sup>, Hiroyuki K<sup>8)</sup>, Aito T<sup>9)</sup>, Kota H<sup>10)</sup>, Yukio W, Hisashi M<sup>1)</sup> (1) Shock and Trauma Center, Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital, (2) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Tokyo Metropolitan Bokutoh Hospital, (3) Intensive Care Unit, Department of Anesthesiology, Saitama Medical Center, (4) Department of Emergency and Critical Care Medicine, National Disaster Medical Center, (5) Department of Emergency Medicine, Saga-Ken Medical Center Koseikan, (6) Department of Emergency Medicine, Yamagata Prefectural Central Hospital, (7) Department Intensive Care Medicine, Iizuka Hospital, (8) Advanced Emergency Care Center, Saga University Hospital, (9) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Tsukuba Medical Center Hospital, (10) and others) : Efficacy of poly-

myxin B-immobilized fiber hemoperfusion for patients with septic shock caused by Gram-negative bacillus infection. PLOS ONE 2017; 30 (12 (3)) : e0173633.

(2) 総説 :

- 1) 益子一樹, 松本 尚: 救急傷病の画像診断戦略胸部外傷. 救急医学 2016; 40 (10) : 1226-1235.
- 2) 益子一樹, 松本 尚: 救急室での開胸術と開腹術・出血性ショック時の大動脈遮断手技. 臨床外科 2016; 71 (11) : 128-132.
- 3) 斎藤伸行<sup>1,2)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター, (2) 日本医科大学千葉北総病院 感染制御部) : 外傷患者に合併する肺炎. 日本外科感染症学会雑誌 2016; 13 (3) : 209-221.

(3) 研究報告書 :

- 1) 小井土雄一<sup>1)</sup>, 松本 尚, 本村友一, 中村光伸<sup>2)</sup>, 町田浩志<sup>2)</sup>, 小早川義貴<sup>1)</sup>, 阿南英明<sup>3)</sup>, 山口 誠<sup>4)</sup>, 横田英己<sup>5)</sup> (1) 国立病院機構 災害医療センター, (2) 前橋赤十字病院, (3) 藤沢市民病院, (4) 千葉市消防局, (5) 朝日航洋株式会社) : 地域医療搬送に関する研究. 平成28年度厚生労働省科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)「首都直下型地震・南海トラフ地震等の大規模災害時に医療チームが効果的、効率的に活動するための今後の災害医療体制のあり方に関する研究」2017.

(4) 症例報告 :

- 1) 杉中宏司, 中山文彦, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : CT によっても同定されなかった大腿骨複合骨折の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2016; 37 (2) : 333-337.
- 2) Hara Y, Matsumoto H, Yokota H<sup>1)</sup>, Kawai M<sup>1)</sup>, Yagi T, Saito N, Yasumatsu H, Mashiko K, Motomura T, Iida H (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine,Nippon Medical School Hospital) : The Pedicled Omental Flap Technique for Treating Extensive Defects or Soft-Tissue Infection of the Pelvic Area : A Report of 2 Cases. J Nippon Med Sch 2016; 83 (6) : 257-261.

## 著 書

- 1) 本村友一: [分担] 複数患者への対応. 外傷初期診療ガイドライン 第5版 (日本外傷学会・日本救急医学会監修), 2016 : pp263-269, へるす出版.
- 2) 益子一樹: [分担] 緊張性気胸に対する胸腔穿刺, 胸腔ドレナージ. 外傷初期診療ガイドライン 第5版 (日本外傷学会・日本救急医学会監修), 2016 : pp93-94, へるす出版.
- 3) 黒柳美里, 黒柳能光<sup>1)</sup> (1) 北里大学) : [自著] 第1章 : 事例から学ぶ~外科材料への応用を目的とした原料の開発と作製/加工/評価 第3節 ヒアルロン酸とコラーゲンを基材とした組織瘻着防止材の開発. 手術用シーラント材・瘻着防止材の利便化向上を目指した製品開発, 2016 : pp16-25, (株) 技術情報協会.
- 4) 原 義明: [分担] 第7章 骨盤外傷. 外傷初期診療ガイドライン 第5版 (日本外傷学会・日本救急医学会監修), 2016 : pp113-122, へるす出版.
- 5) 斎藤伸行: [分担] 特殊な人工呼吸様式 proportional assist ventilation (PAV). 救急・集中治療アドバンス 急性呼吸不全 (藤野裕士), 2016 : pp152-158, 中山書店.
- 6) 斎藤伸行, 松本 尚: [分担] 基礎疾患との関連性 外傷. 救急・集中治療アドバンス 重症患者における炎症と凝固・線溶系反応 (松田直之), 2017 : pp152-165, 中山書店.

## 学会発表

(1) 特別講演 :

- 1) 松本 尚: 「救急医療の現場から医療機器・医薬品開発に期待すること」. ジャパンライフサイエンスウイーク 2016 (東京都), 2016. 4.

(2) 招待講演 :

- 1) Motomura T : Advanced Automatic Collision Notification (AACN) system in Japan. 次世代自動車ヘルスケア研究会(第1回) (原州, 韓国), 2016. 12.
- 2) Motomura T : New update of Doctor-Heli system in Japan. 韓国航空医療学会(第6回) (天安, 韓国), 2016. 12.
- 3) Yamada M<sup>3)</sup>, Matsuda A<sup>1)</sup>, Chiba T<sup>2)</sup>, Aiso S<sup>3)</sup>, Masuno T, Yokota H, Miyashita M<sup>1)</sup> (1) Department of Surgery, Nippon Medical School, (2) Department of Pathology, Kyorin University School of Medicine, (3) Department of Anatomy, Keio University School of Medicine) : THE EFFECT OF S14G-HUMANIN ON MEMORY IMPAIRMENT INDUCED BY SEVERE SEPSIS. Shock (39th) (Austin, Texas, USA), 2016. 6.
- 4) Yasumatsu H : My Life as a Young Trauma Surgeon. AJOU International Trauma Conference (Suwon, Gyeonggi province, South Korea), 2016. 6.

(3) 教育講演：

- 1) 松本 尚：「REBOA」. 日本 Acute Care Surgery 学会学術集会（第 8 回）(大阪府大阪市), 2016. 9.
- 2) 斎藤伸行：PICS 予防とリハビリデーション. 日本集中治療学会学術集会（第 44 回）(北海道札幌市), 2017. 3.

(4) シンポジウム：

- 1) 佐藤友一<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>(1)</sup> 佐賀県医療センター好生館)：平成 28 年熊本地震における超急性期空路調整と九州の課題. 日本航空医療学会（第 23 回）(埼玉県川越市), 2016. 11.
- 2) 町田浩志<sup>1)</sup>, 本村友一<sup>(1)</sup> 前橋赤十字病院 高度救命救急センター)：平成 28 年熊本地震におけるドクターヘリ活動の実績と今後の課題. 日本航空医療学会（第 23 回）(埼玉県川越市), 2016. 11.
- 3) 益子一樹, 安松比呂志, 本村友一, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学)：指導救命士とタッグで MC を育てる. 日本救急医学会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
- 4) 岡田一宏, 斎藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学)：外傷症例における venous thromboembolism (VTE) 発生の予測に対する D-dimer の有用性の検討. 日本救急医学会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
- 5) 安松比呂志, 益子一樹, 樽本浩司, 山本真梨子, 服部 陽, 阪本太吾, 中山文彦, 本村友一, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学)：当施設における Damage Control Resuscitation strategy と Damage Control Surgery. 日本 Acute Care Surgery 学会学術集会（第 8 回）(大阪府大阪市), 2016. 9.
- 6) 益子一樹, 阪本太吾, 平林篤志, 安松比呂志, 飯田浩章, 本村友一, 斎藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚：茨城県常総市水害における航空医療体制構築とドクターヘリ活動. 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会（第 11 回）(岡山県岡山市), 2016. 12.
- 7) 八木貴典, 斎藤伸行, 近田祐介, 本村友一, 益子一樹, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学高度救命救急センター)：日本外傷データバンクを用いた本邦における小児外傷の現況. 日本小児救急医学会学術集会（第 30 回）(宮城県仙台市), 2016. 7.
- 8) 原 義明, 飯田浩章, 川井 真<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学高度救命救急センター)：整形外科医の嫌いな整形外傷. 救急整形外傷シンポジウム（第 22 回）(北海道札幌市), 2016. 6.
- 9) 佐藤友子<sup>1)</sup>, 大塚尚実<sup>2)</sup>, 藤塚健次<sup>3)</sup>, 木村友一, 山内延貴<sup>4)</sup>, 町田浩志<sup>3)</sup>, 吉田隆浩<sup>5)</sup>, 林田和之<sup>6)</sup>, 八木正晴<sup>7)</sup>, 奥本克己<sup>8)</sup> (1) 滋賀県医療センター好生館救命救急センター, <sup>2)</sup> 熊本赤十字病院麻酔科, <sup>3)</sup> 前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科, <sup>4)</sup> 日本医科大学千葉北総病院庶務課, <sup>5)</sup> 岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター, <sup>6)</sup> 熊本赤十字病院総合救命治療センター外傷外科, <sup>7)</sup> 浦添総合病院救命救急センター, <sup>8)</sup> 熊本赤十字病院総合救命救急センター救急科)：平成 28 年熊本地震における超急性期の空路搬送調整. 日本集団災害医学会（第 22 回）(名古屋), 2017. 2.
- 10) 斎藤伸行, 八木貴典, 岡田一宏, 久城正紀, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学)：院内感染症に対する qSOFA スコアの診断精度の検証. 日本集中治療学会学術集会（第 44 回）(北海道札幌市), 2017. 3.
- 11) 斎藤伸行, 八木貴典, 浅野 健<sup>1)</sup>, 曾我晶子<sup>1)</sup>, 岡田一宏, 久城正紀, 松本 尚 (1) 日本医科大学千葉北総病院 臨床倫理委員会)：3 次救急医療施設における臨床倫理課題への取り組み. 日本集中治療学会学術集会（第 44 回）(北海道札幌市), 2017. 3.
- 12) 山田真吏奈, 松田明久<sup>1)</sup>, 相磯貞和<sup>2)</sup>, 増野智彦<sup>3)</sup>, 松本 尚, 宮下正夫<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>3)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科, <sup>2)</sup> 慶應義塾大学医学部解剖学教室, <sup>3)</sup> 日本医科大学 救急医学)：全身炎症が脳機能に与える影響の検討から得られた治療シーズ 基礎研究. 日本救急医学会総会・学術集会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
- 13) Matsuda A<sup>1)</sup>, Yamada M<sup>1)</sup>, Miyashita M<sup>1)</sup>, Uchida A<sup>1)</sup> (1) Department of Surgery, Nippon Medical School) : THE PREDICTIVE ROLE OF LIPID MEDIATORS FOR POSTOPERATIVE COMPLICATIONS AFTER GASTROINTESTINAL SURGERY. International Federation of Shock Societies (8th) (Tokyo, Japan), 2016. 10.

(5) パネルディスカッション：

- 1) 本村友一：救急自動通報システム (D-Call Net) 試行運用上の課題と対策の進捗. 自動車技術会 2016 年春季フォーラム (名古屋), 2016. 6.
- 2) 本村友一：救急自動通報システム (D-Call Net) 試行運用の実事例と全国展開への展望. 日本航空医療学会（第 23 回）(埼玉県川越市), 2016. 10.
- 3) 本村友一, 松本 尚, 益子邦洋<sup>1)</sup>, 石川博敏<sup>1)</sup>, 西本哲也<sup>1)</sup>, 木内 透<sup>1)</sup> (1) 救急ヘリ病院ネットワーク D-Call Net 研究会)：世界初！救急自動通報システム (D-Call Net) の試行運用開始と進捗. 日本救急医学会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
- 4) 中村光伸<sup>1)</sup>, 山本瑞樹<sup>2)</sup>, 高森美枝<sup>3)</sup>, 横田英巳<sup>4)</sup>, 小林啓二<sup>5)</sup>, 市原正行<sup>6)</sup>, 町田浩志<sup>1)</sup>, 本村友一 (1) 前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科, <sup>2)</sup> 朝日航洋株式会社 運航部 運航管理グループ, <sup>3)</sup> 株式会社ウェザーニューズ 航空気象コンテンツサービス, <sup>4)</sup> 朝日航洋株式会社 航空事業本部営業統括部, <sup>5)</sup> 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構, <sup>6)</sup> 厚生労働省 DMAT 事務局)：熊本地震では何ができたのか？：ヘリコプターの動態監視システム. 日本救急医学会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
- 5) 松本 尚, 竹島茂人<sup>1)</sup>, 益子一樹, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 自衛隊中央病院 救急科, <sup>2)</sup> 日本医科大学 救急医学)：自衛隊野外手術システムの展開と外傷診療チームの編成. 日本救急医学会（第 44 回）(東京), 2016. 11.
- 6) 原 義明, 斎藤伸行, 八木貴典, 益子一樹, 飯田浩章, 本村友一, 中山文彦, 岡田一宏, 川井 真<sup>1)</sup>, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本

- 医科大学 救急医学) : Preventable Disability 撲滅のためには外傷センターの質を担保する必要がある. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 7) 斎藤伸行, 宮田茂樹<sup>1)</sup>, 松本 尚 (1) 国立循環器病研究センター 輸血管理室) : 救命救急センターにおける MTP の現状. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 8) 松本 尚, 原 義明, 八木貴典, 益子一樹, 斎藤伸行, 飯田浩章, 本村友一, 中山文彦, 岡田一宏, 安松比呂志, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 超分子ゲルを用いたダメージコントロール手術時のパッキング素材の開発. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 9) 益子一樹, 樽本浩司, 山本真梨子, 阪本太吾, 中山文彦, 服部 陽, 本村友一, 安松比呂志, 松本 尚 : 国内 high volume center で外傷外科を学ぶ. 日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (第 8 回) (大阪府大阪市), 2016. 9.
  - 10) 益子一樹, 服部 陽, 安松比呂志, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 外傷外科修練には教育施設としての「重症外傷センター」が必要である. 日本外科学会定期学術集会 (第 116 回) (大阪府大阪市), 2016. 4.
  - 11) 松本 尚, 原 義明, 八木貴典, 益子一樹, 斎藤伸行, 飯田浩章, 本村友一, 中山文彦, 岡田一宏, 安松比呂志, 阪本太吾, 黒柳美里, 濑尾卓生, 近田祐介, 久城正紀, その他 4 名 : 重症体幹部・四肢外傷の診断成績と外傷センターとしての要件. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 30 回) (東京都千代田区), 2016. 5.
  - 12) 山田真吏奈, 松田明久<sup>1)</sup>, 増野智彦<sup>2)</sup>, 松本 尚, 宮下正夫<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>2)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院 外科, <sup>2)</sup> 日本医科大学 救急医学) : 救急医学研究を発展させるためにできること : 基礎研究者の立場から. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- (6) セミナー :
- 1) 松本 尚 : 初療室での damage control surgery. 日本集中治療学会学術集会 (第 44 回) (北海道札幌市), 2017. 3.
- (7) ワークショップ :
- 1) 本村友一, 松本 尚, 西本哲也<sup>1)</sup>, 石川敏博<sup>2)</sup>, 益子邦洋<sup>2)</sup> (1) 日本大学工学部, <sup>2)</sup> D-call Net 研究会) : 世界初の日本版医師派遣 AACN (Advanced Automatic collision Notification) 救急自動通報システム (D-Call Net) の開発. 日本救急医学会関東地方会学術集会 (第 67 回) (栃木県下都賀郡壬生町), 2017. 2.
- (8) ポスター :
- 1) Matsumoto H, Mashiko K, Yasumatsu H, Motomura T, Nakayama F, Sakamoto T, Hattori Y, Okada K, Seo T, Konda Y, Kujo M, Gomi M, Saito N, Yagi T, Hara Y : Fundamental experience of developing temporary packing material using polymer gel to control solid organ hemorrhage. European Congress of Trauma & Emergency Surgery (17th) (Vienna,Austria), 2016. 4.
- (9) 一般講演 :
- 1) Motomura T<sup>4,1)</sup>, Hisanori K<sup>1)</sup>, Hisashi M<sup>1)</sup>, Tetsuya N<sup>4,2)</sup>, Kunihiro M<sup>4,3)</sup>, Hirotoshi I<sup>4,3)</sup> (, <sup>2)</sup> Nihon University Biomechanics Research Unit, <sup>3)</sup> HEM-Net, <sup>4)</sup> D-Call Net study group) : Development and operation of the Japan Advanced Automatic Collision Notification (D-Call Net) Service. World Trauma Congress (3rd) (New Delhi), 2016. 8.
  - 2) 本村友一, 平林篤志, 山内延貴, 松本 尚, 藤塚健次<sup>1)</sup>, 町田浩志<sup>1)</sup>, 中村光伸<sup>1)</sup>, 大塚尚実<sup>2)</sup>, 佐藤友子<sup>3)</sup> (1) 前橋赤十字病院, <sup>2)</sup> 熊本赤十字病院, <sup>3)</sup> 佐賀県医療センター好生館) : ドクターへリ調整部 (熊本県庁) の活動 (他機関ヘリによる航空医療搬送). 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 3) 高橋礼子<sup>1)</sup>, 近藤久禎<sup>1)</sup>, 嶋村文彦<sup>2)</sup>, 本村友一, 小井土雄一<sup>1)</sup> (1) 災害医療センター 臨床研究部, <sup>2)</sup> 千葉県救急医療センター) : 広域災害時における DMAT・消防の連携体制強化 : 第 5 回緊急消防援助隊全国合同訓練より. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 4) 平林篤志, 本村友一, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 平成 26 年度千葉県交通事故調査による PTD の検証. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 5) 関根和弘<sup>1)</sup>, 田中秀治<sup>1)</sup>, 匂坂 量<sup>1)</sup>, 原 貴大<sup>1)</sup>, 田久浩志<sup>1)</sup>, 本村友一, 松本 尚, 島崎修次<sup>1)</sup> (1) 国士館大学大学院 救急システム研究科 救急システム専攻) : 救急隊の行う外傷フィールドトリアージの臨床的有用性についての後方視的検討. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 6) 町田浩志<sup>1)</sup>, 松本 尚, 中村光伸<sup>1)</sup>, 本村友一, 佐藤友子<sup>2)</sup>, 大塚尚実<sup>3)</sup>, 林田和之<sup>4)</sup>, 八木正晴<sup>5)</sup>, 吉田隆浩<sup>6)</sup>, 藤塚健次<sup>1)</sup> (1) 前橋日赤病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科, <sup>2)</sup> 佐賀県医療センター好生館, <sup>3)</sup> 熊本赤十字病院 麻酔科, <sup>4)</sup> 熊本赤十字病院 総合救命救急センター 外傷外科, <sup>5)</sup> 浦添総合病院 救命救急センター 総合診療部, <sup>6)</sup> 岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター) : 平成 28 年熊本地震における参集ドクターへリ群の活動概略. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
  - 7) 太田黒崇伸, 久城正紀, 近田祐介, 岡田一宏, 八木貴典, 斎藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 救急外来受診患者における quick Sepsis-Related Organ Failure Assessment (qSOFA) を用いた敗血症診断の検証. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.

- 8) 樽本浩司, 斎藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 頸椎頸髄損傷患者における外傷性椎骨動脈損傷の検討. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 9) 山本真梨子, 斎藤伸行, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 外傷性肺囊胞 18 例に関する臨床的検討. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 10) 阪本太吾, 斎藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 重症外傷を除外するための D ダイマーを用いたリスク評価. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 11) 二宮宣文<sup>1)</sup>, 不動寺純明<sup>2)</sup>, 今本俊郎<sup>3)</sup>, 樽本浩司 (1) 塩田記念病院 救急科, <sup>2)</sup> 亀田総合病院 救命救急科, <sup>3)</sup> 埼玉県立小児医療センター) : 医療過疎地域における救急科の役割. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 12) 久城正紀, 斎藤伸行, 岡田一宏, 八木貴典, 益子一樹, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 骨盤骨折に対する血管造影検査の適応. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 13) 小田有哉, 斎藤伸行, 服部 陽, 安松比呂志, 益子一樹, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 出血性胃潰瘍における再出血ハイリスクについての検討. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 14) 宮本 拓<sup>1)</sup>, 池知大輔<sup>1)</sup>, 樽本浩司, 清水弘毅<sup>1)</sup>, 山下 進<sup>1)</sup> (1) 独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院) : Wernicke 脳症を発症した慢性腎不全患者の 1 例. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 15) 中山文彦, 益子一樹, 八木貴典, 斎藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 鈍的胸部大動脈損傷治療の課題. 日本救急医学会 (第 44 回) (東京), 2016. 11.
- 16) 久城正紀, 益子一樹, 本村友一, 安松比呂志, 八木貴典, 斎藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup>, 千葉県交通事故調査委員会 (1) 日本医科大学 救急医学) : 千葉県におけるラピッドカー運用の提言. 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会 (第 11 回) (岡山県岡山市), 2016. 12.
- 17) Saito N, Yagi T, Matsumoto H, Hara Y, Motomura T<sup>1)</sup>, Iida H, Yasymatsu H, Mashiko K, Yokota H (1) Nippon Medical School, Emergency and Critical Care Medicine) : Therapeutic trigger value of fibrinogen in patients with severe trauma. Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma & Clinical Congress of Acute Care Surgery (75th) (Hawaii), 2016. 9.
- 18) 飯田浩章, 市川頼子, 五味基央, 濑尾卓生, 原 義明, 松本 尚, 川井 真<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学救命救急センター) : 寛骨臼骨折術後に発生した血栓塞栓症の 2 例. 救急整形外傷シンポジウム (第 22 回) (北海道札幌市), 2016. 6.
- 19) 中山文彦, 益子一樹, 本村友一, 安松比呂志, 服部 陽, 阪本太吾, 原 義明, 斎藤伸行, 八木貴典, 飯田浩章, 濑尾卓生, 近田祐介, 岡田一宏, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 鈍的外傷による下大静脈損傷の治療の課題. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 30 回) (東京都千代田区), 2016. 5.
- 20) 五味基央, 原 義明, 飯田浩章, 濑尾卓生, 杉中宏司, 後藤美咲, 市川頼子, 川井 真<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 外傷性の頸胸椎移行部骨折に合併した胸部大動脈損傷の検討. 日本骨折治療学会 (第 42 回) (東京), 2016. 7.
- 21) 山本真梨子, 服部 陽, 阪本太吾, 中山文彦, 安松比呂志, 本村友一, 益子一樹, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 現場にて切迫心停止となった外傷性子宮筋腫破裂の 1 例. 日本腹部救急医学会総会 (第 53 回) (神奈川県横浜市), 2017. 3.
- 22) 原 義明, 飯田浩章, 濑尾卓生, 五味基央, 市川頼子, 川井 真<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 当施設における見逃し外傷の実態. 日本骨折治療学会 (第 42 回) (東京), 2016. 7.
- 23) 岡田一宏, 斎藤伸行, 久城正紀, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 重症外傷における persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome の新診断基準. 日本集中治療学会学術集会 (第 44 回) (北海道札幌市), 2017. 3.
- 24) 町田浩志<sup>1)</sup>, 中村光伸<sup>1)</sup>, 木村友一, 佐藤友子<sup>2)</sup>, 大塚尚実<sup>3)</sup>, 林田和之<sup>4)</sup>, 八木正晴<sup>5)</sup>, 吉田隆浩<sup>6)</sup>, 松本 尚 (1) 前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科, <sup>2)</sup> 佐賀県医療センター好生館救命救急センター, <sup>3)</sup> 熊本赤十字病院麻酔科, <sup>4)</sup> 熊本赤十字病院総合救命治療センター外傷外科, <sup>5)</sup> 浦添総合病院救命救急医センター, <sup>6)</sup> 岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター) : 平成 28 年熊本地震におけるドクターへリ統括本部の活動と存在意義. 日本集団災害医学会 (第 22 回) (名古屋), 2017. 2.
- 25) 中村光伸<sup>1)</sup>, 山本瑞樹<sup>2)</sup>, 高森美枝<sup>3)</sup>, 横田英己<sup>2)</sup>, 小林啓二<sup>4)</sup>, 市原正行<sup>5)</sup>, 町田浩志<sup>1)</sup>, 木村友一 (1) 前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科, <sup>2)</sup> 朝日航洋株式会社, <sup>3)</sup> 株式会社ウェザーニューズ航空気象コンテンツサービス, <sup>4)</sup> 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構, <sup>5)</sup> 厚生労働省 DMAT 事務局) : 熊本地震では何ができたのか? : ヘリコプター動態監視システム. 日本集団災害医学会 (第 22 回) (名古屋), 2017. 2.
- 26) 平林篤志, 木村友一, 益子一樹, 松本 尚 : 局地災害に対して Plan Red は有効か?. 日本集団災害医学会 (第 22 回) (名古屋), 2017. 2.
- 27) 山内延貴<sup>1)</sup>, 渡邊暁洋<sup>2)</sup>, 丹内一成<sup>3)</sup>, 小原裕樹<sup>4)</sup>, 武政輝希<sup>5)</sup>, 木村友一, 嶋村文彦<sup>6)</sup> (1) 日本医科大学千葉北総病院庶務課・災害対策室, <sup>2)</sup> 日本医科大学千葉北総病院薬剤部・災害対策室, <sup>3)</sup> 千葉県病院局経営管理課, <sup>4)</sup> 東京慈恵会医科大学附属病院医療安産推進室, <sup>5)</sup> 千葉県救急医療センター看護部, <sup>6)</sup> 千葉県救急医療センター外傷治療科) : 千葉県 DMAT ロジスティック会の研修効果について

- て. 日本集団災害医学会（第22回）（名古屋），2017. 2.
- 28) Yamada M<sup>1)</sup>, Chiba T<sup>2)</sup>, Matsuda A<sup>3)</sup>, Aiso S<sup>1)</sup>, Masuno T, Matsumoto H, Yokota H<sup>3)</sup>, Miyashiya M (1) Department of Anatomy, Keio University School of Medicine, (2) Department of Pathology, Kyorin University School of Medicine, (3) Department of Surgery, NIppon Medical School) : THE ROLE OF ASTROCYTES IN THE NERVOUS SYSTEM DYSFUNCTION, SEPSIS INDUCED MEMORY IMPAIRMENT. International Federation of Shock Societies (8th) (Tokyo, Japan), 2016. 10.
  - 29) Sekiguchi K<sup>3)</sup>, Yamada M<sup>1)</sup>, Chiba T<sup>2)</sup>, Matsuda A<sup>3)</sup>, Aiso S<sup>1)</sup>, Masuno T, Matsumoto H, Yokota H, Miyashita M<sup>3)</sup> (1) Department of Anatomy, Keio University School of Medicine, (2) Department of Pathology, Kyorin University School of Medicine, (3) Department of Surgery, NIppon Medical School) : S14G-HUMANIN IMPROVES THE SURVIVAL FROM SEVERE SEPSIS. International Federation of Shock Societies (8th) (Tokyo, Japan), 2016. 10.
  - 30) Konda Y, Matsuda A, Yamada M, Shibata A, Ichikawa Y, Saito N, Yagi T, Hara Y, Matsumoto H, Yokota H : THE ALTERATIONS OF MILK FAT GLOBULE EGF-FACTOR 8 AND THE ASSOCIATION WITH ORGAN DYSFUNCTION IN TRAUMA ICU PATIENTS. International Federation of Shock Societies (8th) (Tokyo, Japan), 2016. 10.
  - 31) Sumi Y<sup>1)</sup>, Matsuda A<sup>2)</sup>, Yamada M, Kuroda Y<sup>1)</sup>, Zhang J<sup>3)</sup>, Junger W<sup>3)</sup>, Tanaka H<sup>1)</sup> (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Juntendo University Urayasu Hospital, (2) Department of Surgery, Nippon Medical School, (3) Department of Surgery, Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School) : PLASMA ATP/ADENOSINE BALANCE AND THE INFLAMMATORY RESPONSE TO ELECTIVE SURGERY. International Federation of Shock Societies (8th) (Tokyo, Japan), 2016. 10.
  - 32) 山田真吏奈, 増野智彦<sup>1)</sup>, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 早期の感染コントロールは, 敗血症マウスモデルにおけるPICS脳機能障害を抑制させる. 日本救急医学会総会・学術集会（第44回）(東京), 2016. 11.
  - 33) Masuda H<sup>1)</sup>, Matsuda A<sup>1)</sup>, Matsumoto S<sup>1)</sup>, Sakurazawa N<sup>1)</sup>, Yamada M<sup>1)</sup>, Miyashita M<sup>1)</sup>, Uchida E<sup>1)</sup> (1) Department of Surgery, Nippon Medical School) : NON-OCCLUSIVE MESENTERIC ISHEMIA : PATHOGENESIS, DIAGNOSTIC AND THERAPEUTIC MODALITIES FROM OUR EXPERIENCES. International Federation of Shock Societies (8th) (Tokyo, Japan), 2016. 10.
  - 34) Ando F<sup>1)</sup>, Matsuda A<sup>1)</sup>, Matsumoto S<sup>1)</sup>, Sakurazawa N<sup>1)</sup>, Sekiguchi K<sup>1)</sup>, Yamada M<sup>1)</sup>, Miyashita M<sup>1)</sup>, Uchida E<sup>1)</sup> (1) Department of Surgery, Nippon Medical School) : THE PREDICTIVE VALUE OF THE LYMPHOCYTE-TO-MONOCYTE RATIO ON INFECTIOUS COMPLICATIONS AFTER LAPAROSCOPIC COLORECTAL CANCER. International Federation of Shock Societies (8th) (Tokyo, Japan), 2016. 10.
  - 35) Matsuda A<sup>1)</sup>, Miyashita M<sup>1)</sup>, Yamada M<sup>1)</sup>, Matsutani T<sup>1)</sup>, Sekiguchi K<sup>1)</sup>, Kuriyama S<sup>1)</sup>, Uchida E<sup>1)</sup> (1) Department of Surgery, Nippon Medical School) : ASSOCIATION OF GALECTIN-3 BLOOD LEVELS AND POSTOPERATIVE COMPLICATIONS AFTER COLORECTAL CANCER SURGERY. Shock (39th) (Austin, Texas, USA), 2016. 6.
  - 36) 樽本浩司, 山本真梨子, 阪本太吾, 中山文彦, 服部 陽, 安松比呂志, 益子一樹, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 液体大麻によるbody packerの1例. 日本腹部救急医学会総会（第53回）(神奈川県横浜市), 2017. 3.
- (10) Joint Session :
- 1) 阪本太吾, 斎藤伸行, 八木貴典, 益子一樹, 飯田浩章, 本村友一, 中山文彦, 岡田一宏, 瀬尾卓生, 安松比呂志, 杉中宏司, 原 義明, 松本 尚, 横堀将司<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup>, その他5名 (1) 日本医科大学 救急医学) : 外傷医と脳外科医の連携に関する北総モデルの提案. 日本外傷学会総会・学術集会（第30回）(東京都千代田区), 2016. 5.
- (11) デジタルポスター :
- 1) 久城正紀, 斎藤伸行, 岡田一宏, 太田黒崇伸, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行<sup>1)</sup> (1) 日本医科大学 救急医学) : 外傷患者に対する挿管回避・肺炎予防を目的としたNPPV (Noninvasive Positive Pressure Ventilation). 日本集中治療学会学術集会（第44回）(北海道札幌市), 2017. 3.
- (12) 一般演題 :
- 1) 山田真吏奈<sup>1)</sup>, 千葉知宏<sup>2)</sup>, 松田明久<sup>3)</sup>, 相磯貞和<sup>4)</sup>, 増野智彦<sup>1)</sup>, 松本 尚<sup>1)</sup>, 横田裕行<sup>1)</sup>, 宮下正夫<sup>3)</sup> (1) 日本医科大学救急医学, (2) 杏林大学医学部病理学, (3) 日本医科大学千葉北総病院外科, (4) 慶應義塾大学医学部解剖学) : PICS病態におけるアストロサイトの役割. 外科侵襲とサイトカイン研究会（第23回）(東京), 2016. 7.
- (13) 救急科領域講習 :
- 1) 松本 尚 : 動画でみる外傷初療. 日本救急医学会（第44回）(東京), 2016. 11.
- (14) 動画セッション :
- 1) 服部 陽, 松本 尚, 原 義明, 八木貴典, 益子一樹, 斎藤伸行, 飯田浩章, 本村友一, 中山文彦, 岡田一宏, 安松比呂志, 阪本太吾, 黒柳美里, 瀬尾卓生, 近田祐介, その他4名 : 頸部血管中枢側への経胸腔的アプローチ. 日本外傷学会総会・学術集会（第30回）(東京都千代田区), 2016. 5.

(15) 優秀演題：

- 1) 益子一樹, 安松比呂志, 飯田浩章, 本村友一, 斎藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚：外傷センターを中心とした広域外傷システム構築の効果. 日本外傷学会総会・学術集会（第30回）(東京都千代田区), 2016. 5.

論 文

[追加分]

追加分総説：

- 1) 瀬尾卓生：注意すべき四肢外傷. 小児外科 2016; 48 (2) : 196-201.

追加分原著：

- 1) Matsumoto H, Mashiko K, Hara Y, Yagi T, Hayashida K, Mashiko K, Saito N, Iida H, Motomura T, Yasumatsu H, Kamayama D, Hirabayashi A, Yokota H<sup>1</sup>, Ishikawa H<sup>2</sup>, Kunimatsu T<sup>2</sup>) (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine,Nippon Medical School,Tokyo,Japan, (2)Nonprofit Organization of emergency Medical Network of Helicopter and Hospital, Tokyo, Japan) : Dispatch of helicopter emergency medical services via advanced automatic collision notification. the journal of emergency medicine 2016; 50 (3) : 437-443.

追加分症例報告：

- 1) 岡田一宏, 八木貴典, 斎藤伸行, 松本 尚, 横田裕行<sup>1</sup>, 別所竜蔵<sup>2</sup>, 畑 典武<sup>3,4)</sup> (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, (2) 日本医科大学千葉北総病院心臓血管外科, (3) 日本医科大学千葉北総病院集中治療室, (4) 日本医科大学千葉北総病院循環器内科) : 多発外傷に併発した呼吸不全に対して venovenous extracorporeal membrane oxygenation を使用した5例の検討. 日本救急医学会雑誌 2016; 27 (2) : 56-61.

著 書

追加分著書：

- 1) 岡田一宏, 松本 尚: [分担] 溺水. 呼吸器疾患 最新の治療 2016-2018 (杉山幸比古, 門田淳一, 弦間昭彦), 2016; pp176-178, 南江堂.

学会発表

追加分一般講演：

- 1) 山田真吏奈<sup>1</sup>, 松田明久<sup>2</sup>, 千葉知宏<sup>3</sup>, 相磯貞和<sup>4</sup>, 増野智彦<sup>5</sup>, 松本 尚<sup>1</sup>, 宮下正夫<sup>2</sup>, 横田裕行<sup>5</sup>) (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, (2) 日本医科大学千葉北総病院外科, (3) 杏林大学医学部病理学教室, (4) 慶應義塾大学医学部解剖学教室, (5) 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野 (同 高度救命救急センター)) : 重症敗血症モデルマウスにおける S14G-Humanin の効果. エンドトキシン血症救命治療研究会 (第20回) (東京), 2016. 1.